



週刊 YEAR BOOK

1925  
大正14年

# 日録20世紀

6/16

平成10年6月16日発行  
(毎週1回発行)第2巻第22号

¥560  
講談社



「治安維持法」と「弾圧の構図」  
東京六大学野球リーグ戦にファン熱狂!  
カメラの革命! 「ライカ」誕生

## “娯楽の王様”ラジオ放送開始!





▲鉦石式受信機のレシーバーを分けてあって聞く子どもたち。大正末期の東京数寄屋橋付近にて。 NHK提供

「JOAK、JOAK、こちらは東京放送局であります……」  
「ジェーイ」「オーウ」「エーイ」「ケーイ」と遠くに呼びかけるような京田武男アナウンサー（三八）の静かで抑揚のついた声が、早春の東京の空に響いた。  
大正一四年三月二二日の午前九時三〇分、東京・芝浦にある東京放送局の仮放送所から流れてきたこの声が、日本におけるラジオ放送の歴史的な第一声だった。午前一〇時に開始した式典では、後藤新平東京放送局総裁（六七）が「ラジオの力によってみんなが文化の恩恵に浴する

“オール借り物だったラジオ放送の夜明け”

関東大震災の爪痕が東京のあちこちに残り、日比谷や上野などにまだ多くのバラックが残っていた大正一四年三月、日本初のラジオ放送が東京で始まった。この新しいメディアが一躍マスコミのヒーローに躍り出るのに、そんなに時間はかからなかった。教養講座からドラマまで盛りだくさんのラジオ放送は、またたく間に「娯楽の王様」になったのである。

# 「JOAK、JOAK、こちらは東京放送局」 「日五時間、英語講座からドラマまで」 娯楽の王様「ラジオ放送、始まる！」



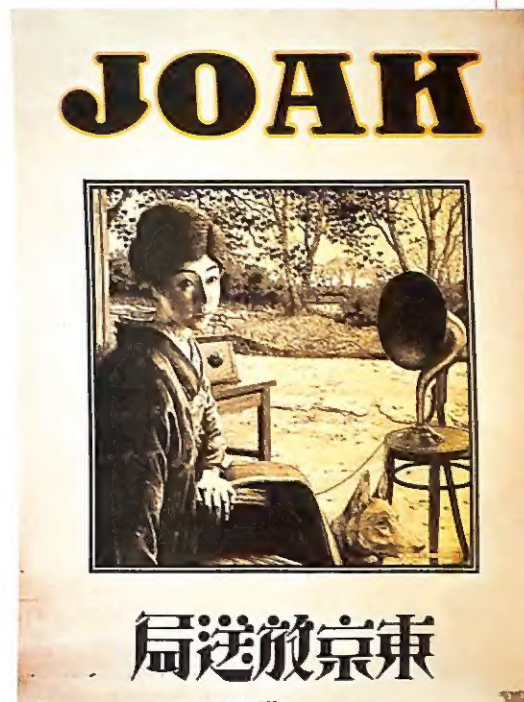
▲東京放送局の放送記念絵はがき。愛宕山の施設をバックに、当時の熱気あふれる放送風景を伝えている。 NHK放送博物館蔵

▶大正14年製の三球レフレックス受信機（山中電機製）。定価約50円。鉦石式に比べ、大変高価なものだった。 NHK提供

▼大阪放送局の放送開始一周年記念絵はがき。マンガ、標語などを公募し、セットにして売り出されたもの。 NHK放送博物館蔵



▲ダブルボタン型マイクロホン。アメリカ製で、放送開始当時に使用されたもの。 NHK提供



▲東京放送局開局記念のポスター。人気画家・樺島勝一の絵で話題を呼んだ。 NHK提供

▶本放送が開始された、大正一四年七月二日の番組表。ラジオ劇「桐一葉」が人気を呼んだ。

組番日一第始開送放本	
七月二日	大正一四年
七月三日	大正一四年
七月四日	大正一四年
七月五日	大正一四年
七月六日	大正一四年
七月七日	大正一四年
七月八日	大正一四年
七月九日	大正一四年
七月十日	大正一四年
七月十一日	大正一四年
七月十二日	大正一四年
七月十三日	大正一四年
七月十四日	大正一四年
七月十五日	大正一四年
七月十六日	大正一四年
七月十七日	大正一四年
七月十八日	大正一四年
七月十九日	大正一四年
七月二十日	大正一四年
七月二十一日	大正一四年
七月二十二日	大正一四年
七月二十三日	大正一四年
七月二十四日	大正一四年
七月二十五日	大正一四年
七月二十六日	大正一四年
七月二十七日	大正一四年
七月二十八日	大正一四年
七月二十九日	大正一四年
七月三十日	大正一四年

◎表紙 受話器（レシーバー）を耳に、開局まもないラジオ放送を聴く女優の岡田嘉子（左）と梅村蓉子。 朝日新聞社



## ラジオ放送“初めて”史

- 大正14年3月5日 臨時ニュース第1号  
洲崎の遊廓で起きた大火事を、午後7時半に速報。新聞の夕刊は間に合わなかった。
- 大正14年3月11日 映画のラジオ化  
熊岡天童が「臆無情」を放送。活動弁士による映画のラジオ化は、好評を博した。
- 大正14年3月22日 時報が始まる  
午前11時30分頃と午後9時40分頃の1日2回。当時は、1秒から5秒の狂いはざらだった。
- 大正14年3月23日 初の講演放送  
高田早苗・早稲田大学総長が「新田の弁」を講演。翌日は下村宏の「新聞の功罪」。「家庭にいながら名士の声」が聞ける」と好評だった。
- 大正14年7月20日「英語講座」始まる  
岡倉由三郎のユニークな小話が人気。6週間連続放送。テキスト刊行の先駆けだった。
- 昭和2年8月13日 初の野球中継  
全国中等学校野球大会（現在の高校野球）を、甲子園球場から中継。アナウンサーは魚谷忠。職員がミットを持ってマイクを守っていた。
- 昭和3年1月12日 相撲中継が始まる  
両国国技館の春場所を、松内則三アナが中継。6代目出羽海親方の「相撲に関心のない人も見に来るようになる」のひとつで実現。
- 昭和3年11月1日「ラジオ体操」開始  
日曜日と祝祭日の朝に放送。江木理一は昭和14年5月までの約10年間、無遅刻、無欠勤で号令を続け続けた。



▲東京芝の愛宕山に開設された日本初の放送局、東京放送局の全景。現在は、NHK放送博物館となっている。



▲ラジオ初の野外中継。大正14年10月31日、名古屋第三師団練兵場の天長節祝賀式の放送風景。NHK提供

## 「JOAK、JOAKこちらは東京放送局」 1日5時間、英語講座からドラマまで 「娯楽の王様」ラジオ放送、始まる！

夜明けは、「仮放送」ならぬ「借放送」で幕を開けたのである。

**熱演でマイクを壊す芸人  
出演拒否の学者も登場**

こうして始まったラジオの放送時間は、大正一四年当時で平均一日約五時間。番組内容は、講座やラジオ劇、音楽、演芸、ニュース、経済市況、天気予報と比較的に

充実していたが、とまどったのは初めて出演した芸人や学者たちだった。

「講談の大島伯鶴は声を張りあげなければ聴取者に聞こえない」と思い込み、熱演の果てにマイクを故障。中には、スタジオの窓を開け放って放送しようとした演芸家まで登場した」（『放送五十年史』）。

「寝そべって私の話を聞く輩がいるのは許せん。だからラジオには一生出ない」



▲大正14年8月10日、大阪放送局の阿波踊りの放送風景。マイクの前

と出演を断り続ける偏屈学者もいた。

ユニークなエピソードが次々と生まれ、一方、人気番組も登場する。本放送が始まる七月には、巖谷小波らの童話が人気を呼んだ「子供の時間」、語学テキスト刊行の先駆け「英語講座」、初のラジオドラマ「大尉の娘」がスタート。特に、陸軍大尉と娘の悲話を描いた「大尉の娘」は、半鐘音や火炎などの効果音、井上正夫（四四）と水谷八重子（一九）の熱演が人気を呼んだ。地底の炭坑で追いつめられる心理を描くため、水入りの大樽をスタジオに持ちこんで効果音を作った「炭坑の中」も、初期のラジオドラマを語るのに不可欠だろう。

評論家の加藤秀俊氏は、「珍奇譚に共通しているのは、驚くべきリアリズムだ。花街の気分を出そうと思うと格子戸を作って音を敷き、三味線をはべらせ杯のやりとりまで実演する。鳥の鳴き声なら、鳥を木に止まらせてその前にマイクをおき、鳴くまで待つ。初期のラジオ放送には、超素朴自然主義があつた」と語る。

こうして新境地を開くラジオを、庶民

は新しい娯楽として受け入れた。理髪店や食堂はスピーカーを一日鳴らし続け、「耳隠し」に似た髪形「ラジオ巻き」が流行。子どもが「えー、生糸六分の、高支那は荷不足、各限いっせいに反発してえー」と商品市況をまねる「ラジオおこっこ」も登場した。東京、大阪、名古屋の三局がひとつになって日本放送協会が設立された大正一五年八月には、聴取契約数が三三万件を突破。ラジオは、またたく間に庶民に浸透していったのである。

ところが、昭和初期になると、庶民のラジオに対する需要を支えるのが、「娯楽」から「戦争」へ変わるようになる。夫や息子を戦場に送った人々が、臨時ニュースを聞くために受信機（約五〇円）を購入していったからだ。「満州事変」後の昭和八年、受信契約数は全国で約七〇万件に達し、番組も戦況速報や政府当局者の演説が中心を占め始めた。「リアリズム」にあふれていたはずの初期のラジオ放送は、皮肉にも、この頃から嘘で固められた大本営発表のニュースを垂れ流す放送機関と化していくのである。

で、出演者が実際に踊った。ラジオが始まった頃、こうした放送はすべて“実演”だった。『国際写真情報』国際フォト(右下1点とも)

「壊れた機械で傷だらけのレコードをかける時にそっくりで、絶えずガリガリという針音、ザラザラという雑音が響いてくる。歌に雑音が混じっているというようにむしろ雑音の中から歌が聞こえるという感じである」（『中央公論』一、月号）

日本に先駆けて、世界初のラジオ放送局がアメリカで開局したのは大正九年。軍用の無線電信技術を生かし、ウェスチングハウス電機会社がペンシルバニア州に設立した商業放送局だった。アメリカ

は、国内のラジオ熱が落ちつく、欧州や日本にラジオ機器を輸出。大正一三年頃には、日本でも通信省や新聞社が放送実験を試みるようになっていた。

二年前の関東大震災で傷ついた庶民の強い要望もあって、大正一四年三月二日に東京放送局で仮放送を開始。さらに大阪（六月一日）や、名古屋（七月五日）でも、すぐに放送局が誕生するのだが、その先陣を切る形となった東京のスタジオは東京高等工業学校（現・東京工業大学）の書庫。準備が急場に進められたため、放送機は東京市電気研究所から、アンテナは通信省からといったふうに「オール借り物」。日本におけるラジオの、

「ことができる」と語り、桑山鉄男通信次官は犬養毅通信大臣（六九）の祝辞を代読した。

記念すべき第一日目の番組は、午前一時三〇分の読売新聞ニュース、一時五十分の新日本音楽演奏「さくら変奏曲」、午後一時三〇分の東京日日新聞（現・毎日新聞）ニュース、二時のネットケ・レーヴエ東京音楽学校教授による「ソプラノ独唱」、二時四〇分の哥沢芝金の唄「薄墨」など二曲。午後七時のニュースの後は歌劇「フイデリオ」の重唱などで、最後は八時五十分の「天気予報」だった。

電気店の店頭には、「祝放送開始」と墨で書かれた紙が貼られ、茶の間では、一家全員が受信機のラッパに耳をすました。放送一日目が終了すると、仮放送所に祝いの電報、電話が殺到。東京で三五〇〇件にすぎなかった月額一円の聴取契約数が、一日で三〇〇、五〇〇件もふえたという。詩人の萩原朔太郎（三八）は、初めてラジオを聞いた時の印象を次のように書いている。



▲大正14年8月19日、東京放送局の「将棋実況中継」。木村義雄七段(左)と花田長太郎八段。



# 対象もエスカレート 式発動！ 制定と「弾圧の構図」

# 「国体」の名のもとに、量刑も 「京都学連事件」から正 「治安維持法」



大正一四年四月、悪名高い治安維持法が制定された。「国体の変革と私有財産制度の否認を目的とする結社」の運動を犯罪行為として取り締まるもので、昭和二〇年一〇月、占領軍覚書で廃止されるまで、思想・言論の自由を弾圧、統制するために用いられた。治安維持法による検挙者数は、この間、二〇年間で、約八万人にのぼるとも言われる。

## 「主義者」を「国賊」視！ 治安当局が描いた「構図」

大正一四年四月二二日、治安維持法が公布された。翌日の新聞は公布、および施行の期日を伝えたのみだったが、その第一条は、取り締まる対象を次のように規定していた。

「『国体』を変革し又は私有財産制度を否認することを目的として結社を組織し又は情を知りて之に加入したる者」

治安維持法は、都市型プロレタリアートの形成を背景に台頭し始めた新しい形態の大衆運動、とりわけ共産主義運動に対処するための新治安立法であった。

実際、治安当局は大正一二年六月の「第一次共産党事件」で、共産「主義者」を弾圧し、「国賊」視する世論作りに成功した。そして同年九月、その延長上で憲兵隊による「無政府『主義者』大杉栄虐殺事件」が引き起こされる。「主義者」に対する偏見と憎悪をあり、「国体」の変革をめざすものを「国賊」に仕立てること——これが、治安当局の思い描いた「弾圧の構図」だったのである。

「『国体』という言葉の持つ魔力は非常に大きかったですね。おそれおおくも、

しかし、二月七日、府警は検束した学生をすべて釈放する。特高警察の行動は適法性を疑われ、学生・大学・新聞などの非難のまとなった。終息したかに見えた事件だったが、政府当局の間で秘密裡に仕立て直され、翌大正一五年一月五日に、京都、東京そのほかの学連（学



治安維持法の原本。公布前日の、天皇と摂政宮（後の昭和天皇）の署名。

▶大正14年3月、治安維持法反対集会で検束される参加者。普選法と抱き合わせて上程された法案に、強い反対論が巻き起こった。  
朝日新聞社

……というイメージ、天皇制国家「国体」という感じで、絶対的なものだった」

（国際基督教大学・奥平康弘教授）

治安維持法は、後年日本の歴史の変化に応じて改悪されていく。まず昭和三年には、「国体」変革を目的とする行為の最高刑が、「一〇年以下の懲役または禁錮」から「死刑と無期自由刑」へとエスカレートする。さらに、この「国体」

変革」というあいまいな規定が拡大解釈されて、大本教弾圧（昭和一〇年）など信仰の自由の領域にまで立ち入ることとなり、昭和一六年三月、条文の数も内容も根本的に改められて、法解釈の拡大・拡張に明確な根拠が与えられた。日本が太平洋戦争に突入したこの年、治安維持

法は、文化人や民族主義者、自由主義者にまで適用されることになったのである。

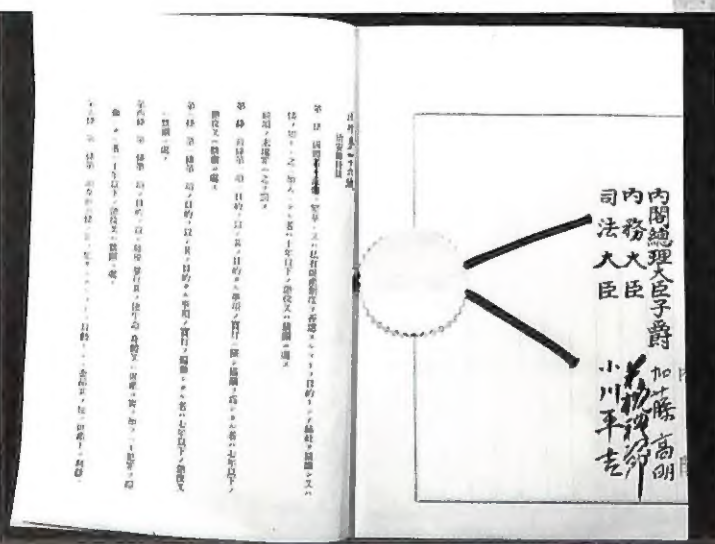
## 「京都学連事件」から 「三・一五」の大弾圧へ

治安維持法が当初の標的とした日本共産党は、大正一三年に解党していた。アナキストの勢力も、大杉栄の死で急速に衰退し、制定時の治安維持法は、適用対象を失っていた。結社の取締りを目的としたこの法律は、伝家の宝刀として温存されるかに見えた。しかし、実際には濫用に近い形で使われるようになる。

「治安維持法による摘発と言われた事件は、『ブラック社事件』をはじめとしていろいろありましたが、官憲側の資料が

ら判断して、国家権力による正式な発動は『京都学連事件』が第一号です」（小樽商科大学・荻野富士夫教授）

大正一四年二月一日、京都府の特高警察は、正式の令状を持たず、京大社研（社会科学研究会）の学生一八人、同志社大生一五人を検束し、荷重三台分もの書物・文書などを押収した。これは、特高課の警官が、一月中旬、同志社大学構内で、軍事教練反対のビラ二葉を発見したのがきっかけで、ビラの経路、左傾学生の組織をたどれば、上部組織に行きあたるという見こみ捜査であった。



治安維持法原本に見える条文。第一条の条文中、挿入で用いられた「若ハ政体」の部分は、衆議院で修正されたもの。



▲大正14年1月、軍事教練に反対して、警視庁前で演説中の学生たち。学運を中心、運動は盛り上がりを見せていた。日本共産党提供

生社会科学連合会、関係者三八人が初めて治安維持法を適用され、逮捕された。大正一五年九月一八日、三八人は全員が治安維持法で起訴された。肝心の第一条件ではなく、第二条件、三条の協議罪・扇動罪を問われたのである。昭和二年五月三〇日、京都地裁は全員に有罪判決。禁錮八月から一年という内容だったが、被告人も検察側も不服で、両方が控訴した。控訴審の公判は、昭和三年三月五日から始まった。ところが、直後の三月一五日、全国で総数一六〇〇人という大検挙が開始される。いわゆる「三・一五事件」である。この検挙は、大正一五年二月に再建された非合法結社の日本共産党弾圧をねらったものだった。「京都学連事件」



件」の被告人の相当数は、日本共産党への加入罪を問われ、翌四年二月二二日下された控訴審判決では、「三・一五」に連座したものには最高が懲役七年、軽いものでも懲役三年という厳しい刑が科された。

「京都学連事件」は、特高が勇み足をして事態収拾をしかねていたところに、司法省が治安維持法という新しいアイデアで助け船を出した。司法省としては中心人物をたたきつぶして、左傾学生運動全般に冷や水をあびせようというもくろみだったと思います。治安維持法の小手調べのような「京都学連事件」とは違って、「三・一五」は本格的な適用事件と言ってよいでしょう。「三・一五」で当局は、共産主義者らの団体変革要素を喧伝し、国民の間に反共思想をまき散らしたのです（前出・奥平教授）

新聞各紙はこぞって、警察発表を鵜呑みにし、「共産党の大陰謀事件が暴露された」といった仰々しい解説をして「アカ狩り」をおおった。リベラリストの木佐木勝（当時、「中央公論」編集委員）は、その頃の風潮を以下のように日記にしたためている。「近ごろ安政時代の復活を思わせる暗い、重苦しい事件の連続である。弾圧につぐ弾圧、石も叫ばんという現状だ。せめて

新聞報道だけでも、事件と弾圧の裏にある真相を伝えてもらえないだろうか」（木佐木日記）現代史出版会

治安維持法が適用された事件は、おもなものだけでも「四・六事件」（昭和四年）、「小林多喜二、扇殺事件」（八年）、「共産党スパイ査問事件」（八年）、「大本教事件」（一〇年）、「天理ほんみち教団事件」（一三年）、「ブルゲ事件」（一六年）と数多いが、この「三・一五事件」をきっかけとして特高警察が強化され、ファシズム体制が確立していくのである。

「京都学連事件」は、特高が勇み足をして事態収拾をしかねていたところに、司法省が治安維持法という新しいアイデアで助け船を出した。司法省としては中心人物をたたきつぶして、左傾学生運動全般に冷や水をあびせようというもくろみだったと思います。治安維持法の小手調べのような「京都学連事件」とは違って、「三・一五」は本格的な適用事件と言ってよいでしょう。「三・一五」で当局は、共産主義者らの団体変革要素を喧伝し、国民の間に反共思想をまき散らしたのです（前出・奥平教授）

新聞報道だけでも、事件と弾圧の裏にある真相を伝えてもらえないだろうか」（木佐木日記）現代史出版会

治安維持法が適用された事件は、おもなものだけでも「四・六事件」（昭和四年）、「小林多喜二、扇殺事件」（八年）、「共産党スパイ査問事件」（八年）、「大本教事件」（一〇年）、「天理ほんみち教団事件」（一三年）、「ブルゲ事件」（一六年）と数多いが、この「三・一五事件」をきっかけとして特高警察が強化され、ファシズム体制が確立していくのである。

## わたちの肖像

稲葉真弓

# ラジオの花形は三児の母！ 女性アナ第一号・翠川秋子が 在職七カ月に終わった理由

東京放送局（現・NHK）ができたのが、この年の三月。まだ仮放送とあって「アー、本日は晴天なり」と繰り返す程度だったが、六月二五日、そこに日本初の女性アナウンサーが誕生、たちまち話題になった。翠川秋子（三五〇本名・萩野千代）である。

ラジオも女性アナも珍しいため、各新聞社が殺到、マイクロホンの前に彼女を座らせ、写真を撮影、容姿や声について一斉に書き立てた。このため彼女は、どこに行っても視線をあげ、身のおきどころがなかったという。花形キャスターの走り、キャリア・ウーマンの先駆けと言ったところだが、実は彼女は三人の子持ち、生活に必死の未亡人だった。



▲番組では「家庭講座」「子供の時間」などを担当した。

断髪姿、目をくまどった化粧に、明快な語り口。たまたま、番組の中で一分間の空白が生じた時、アドリブで七味唐がらしの作り方を紹介するなど「切れる美人」として局内の評判を呼んだ。が、美貌と才気が逆に男性の反感を呼び、

セクハラめいた事件で、泣く泣く局を退職。在職期間は、翌大正一五年一月までのわずか七カ月だった。翠川秋子の背後には、いつも生活苦がいついてまわった。明治三二年、東京・日本橋の砲術師範の一人娘として生まれた彼女は、幼少時は裕福だったが、人にだまされて何千坪という土地を失った後、父が病死、母一人、子一人となった。明治三九年、女子美術学校に入学、高等科まで進んだが給には挫折。四年銀行員と結婚し、五年後には三児の母になっていた。大正一一年、夫が病死してから家計は秋子一人の腕にかかっていた。女学校の教師、便箋などの図案書き、鉄道従業員向けの雑誌の編集者と孤軍奮闘してきた彼女にとって、花形アナウンサーの職を失うことは、さぞ無念だったに違いない。この後の彼女は、子と老いた母を抱え、再び雑誌編集者、食堂やおでん屋の経営など職を転々として働き続けるが、その名が再び世間をにぎわすのは退職後一〇年余を経た昭和一〇年八月、千葉県の海で二九歳の独身男性と衝撃的な情死をとげた時である。知人宛の遺書には、子どもの未来のために死を選んだといったようなことが書かれていたが、本当の動機はわからずじまい。むしろ、添えてあった句「四十年有耶無耶にして今朝の露」に、生活に振りまわされた女の無念が表れているように思える。

## 勝者・敗者

阿部珠樹

# ライバルなき土俵に見切り 三場所連続優勝の直後に “大横綱”栃木山、引退！

大正中期の大相撲は、出羽海部屋の天下だった。明治の大横綱、常陸山は、引退して出羽海部屋を継ぐと、大錦、栃木山、常ノ花と三人の横綱を育て、今の二子山部屋をしのぐような一大王国を築き上げたのだ。春と夏の二場所所制のもとで、大正六年から一〇年夏までの一〇場所、大錦、栃木山、常ノ花の三人が入れ替わり立ち替わり優勝し、ほかの部屋を寄せつけなかった。大正一二年、大錦が力士の待遇改善ストライキ「三河島事件」の責任を取って引退した後も、出羽海部屋の牙城は揺るがなかった。何と言っても、大黒柱の栃木山が健在だったからだ。

栃木山は、身長一七二センチ、体重一〇五キログラム。当時としても小柄だったが、ハズ押しは威力は抜群で、部屋先輩、大錦を追いかけると、猛烈なスピードで番付を駆け上った。五六連勝中の横綱太刀山を破って大関昇進、それも連続優勝して通過。大正七年には横綱に昇進した。横綱に昇進してからも、強さはいつこうに衰えず、大関時代から通算して五場所連続優勝をはたしている。大正一三年春、この大横綱の「黄金の時代」が始まる。この場所、九勝一分けでなんなく優勝、夏場所も一〇勝一敗で優勝。大錦はすでに引退し、常ノ花もまだ発展途上、ライバルはなく、栃木山の前には無人の野が広がっているだけだった。



▲横綱在位14場所、115勝8敗の驚異的な成績を残した。

そしてこの年、大正一四年春、栃木山は一〇勝一分けで当然のように優勝する。その直後だった。栃木山は、突如、引退を表明する。年齢は三三歳になっていたが、どこにも力の衰えは見られないし、大錦のような騒動があったわけでもない。栃木山の引退が衰えによるものでなかったことは、引退から六年後、第一回の選士権大会に出場して現役力士を総なめにして優勝したことでもわかる。おそらく、競争相手のいない地位に安住することを、いさぎよしとしなかったのだろう。大横綱は、何よりも強い相手が好きだったのだ。



# 1925

## フォト＋日録で再現する365日

納税額の資格条件はなくなったものの、二五歳以上の男だけによる普通選挙法が成立し、引き換えに、思想・結社の自由を縛る治安維持法が機先を制するように施行された。雑誌「キング」、ラジオ放送、東京六大学野球——大衆社会は新たな娯楽に興奮した。

▲ヒトラー親衛隊SS誕生(11月9日)SA(突撃隊)司令官、レーンがSAのナチス機関化を拒否したため、それに対抗、全国党员の中から、総額を募集する25-35歳の団員の男たちを隊員に選んだ。写真は間接式。

©Globe/GETTY IMAGES



日録 20世紀1925

1月

▲日ソ基本条約調印(1月20日)北京の日本公使官邸で、両国全権大使が握手、革命後とだえていた日ソ国交回復を達成した。写真右は、ソ連のカラハン。日本側の芳沢謙吉は、病気のためベッドに腰かけて署名した。

▼東京・築地の聖路加病院燃える(1月13日)本館、病室3棟などを全焼。幸い昼間だったため入院患者140人余、委託乳児7人全員が無事だった。原因は、炊事場の煙突の過熱。



「写真通信」



「国際写真情報」/国際フォト

▲トロツキー失脚(1月28日)ロシア革命の大立者が、スターリンらに党反対派として批判され、革命軍事会議議長解任。写真は、クリミヤへ都落ちするトロツキーと夫人。

▶世良田村事件起こる(1月18日)群馬県の未解放部落を村民多数が襲撃、暴行の限りを尽くした。差別発言を受けた未解放部落住民が村民を非難したことへの、復讐だった。加害者23人は、懲役6月以下の判決。

「国際写真情報」/国際フォト



「イラストレーション」



「国際写真タイムス」

▲高松宮宣仁親王、成年式奉告(1月29日)宮中で13日、20歳の式典が行われた。この日、先帝に奉告するため、海軍少尉候補生の制服姿で京都・伏見の桃山御陵に参拝した。

▶アルバニア、共和国宣言(1月21日)初代大統領に、地主出身のアフメッド・ゾグ(写真)が就任。3月に憲法を公布し、独裁的大統領制のもとでの議院内閣制をうたった。

「イラストレーション」



大正14年1月

- 1(本)●「キング」(講談社)創刊、七四万部売れる。
- 2(金)●仏、対米戦債一〇年間支払猶予、支払期間九〇年間を要求。
- 3(土)●ポルトガル、ソ連承認を決定。
- 4(日)●朝鮮総督府、今年度予算一億七三四〇万円と。
- 5(月)●ムソリーニ、内閣改組をしてファシスタ党の独裁体制を確立(20日、独裁宣言)。
- 6(火)●大正一〇年焼失の歌舞伎座が落成。
- 7(水)●パリの連合国財政会議、開催(16日、独賠償支払金の分配についての協定成立)。
- 8(木)●東邦電力の外資債、ニューヨークで一五〇〇万、ロンドンで三〇万、成立。
- 9(金)●大阪の道修女子薬学専門学校、設置認可。
- 10(土)●文政審議会、軍事教育実施案を可決。
- 11(日)●世界一周観光団四七一人の米船が横浜に来港。
- 12(月)●南京の排日運動激化。海軍陸戦隊が上陸。
- 13(火)●高松宮、海軍少尉候補生の制服で成年式。
- 14(水)●東京・築地の聖路加病院、白昼に全焼。
- 15(木)●在外正貨六〇〇万円の横浜正金銀行への払い下げと国内正貨の現送を決定。
- 16(金)●東京市の地下鉄計画発表(六線、延長総計約七九、〇〇〇線など)。
- 17(土)●米富農、ロックフェラーが東京帝大図書館に四〇〇万冊寄付。
- 18(日)●群馬県世良田村で村民二〇〇人が未解放部落三戸を襲撃(世良田村事件)。
- 19(月)●前年末廃止騒ぎの東京市営バス、存続に決定。
- 20(火)●日ソ基本条約、北京で調印し、国交回復。
- 21(水)●アルバニア国民議会、共和国を宣言。
- 22(木)●加藤高明首相、普選断行・行政の根本整理、綱紀粛正、貴族院改革と施政方針演説。
- 23(金)●房総線の列車に連結した郵便車両が襲われ、現金一九二〇円の入った行囊強奪される。
- 24(土)●警視庁、軍事教育反対の学生デモを禁止。
- 25(日)●東京、千住で大火、青物市場の問屋など焼く。
- 26(月)●米穀輸入税免除令、公布(8月31日までの免除を決定、その後10月未だ免除延長)。
- 27(火)●東京市、本年度中に「新浅草」建設と新聞に。
- 28(水)●ソ連でトロツキーの革命軍事会議議長を解任。
- 29(木)●武田製薬が合併し、武田長兵衛商店設立。
- 30(金)●東京、大雪で市営バス(愛称、円太郎)立ち往生。
- 31(土)●旅順防備隊令廃止を公布(4月1日施行)。

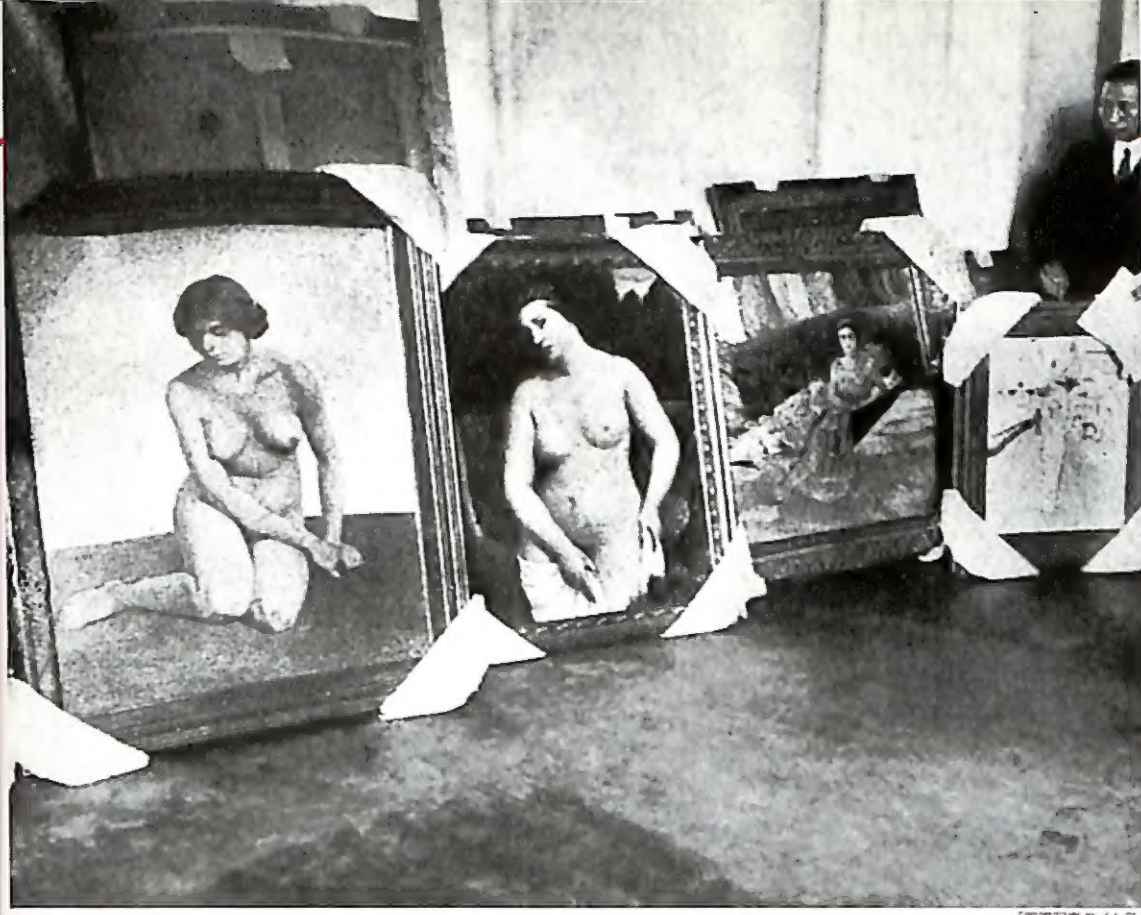




「国際写真タイムス」

▲聖徳記念絵画館が完成(2月1日)大正15年の開苑をめざして造成中の、明治神宮外苑内に登場。外壁は薄桃色の花崗岩、内壁・柱は大理石造り。明治天皇と昭憲皇太后の事蹟を描いた絵画が陳列された。

◀にらまれた裸体画(2月15日)日仏芸術社が、フランス美術展覧会を東京・上野で開催。写真は2日、荷ほどきされた「名作」。監視員は、ヴァン・ドンゲンの裸体画など5点の一般公開見合わせを通告。



「国際写真タイムス」



「国際写真」

▶気象無線通報、開始(2月10日)中央気象台が1日3回、航海中の船に気象の予報・概況などを放送。神戸海洋気象台が大正11年に始めた世界最初の無線電信送信に次ぎ、快挙。左が開発者・曾我義徳。

◀週刊誌「ニューヨーカー」誕生(2月21日)元新聞記者のハロルド・ロスが都会派に向け、明るさと粋と風刺を主調とする雑誌を発刊。写真は創刊号表紙。リー・アービン画。



「国際写真」

◀エーベルト大統領葬儀(3月4日)ドイツ革命後のワイマール共和国代表として、戦後処理にあたってきたが、2月28日腹膜炎で死亡。54歳。告別式には50万人が参列。

▶加賀百万石「高砂や」(2月7日)侯爵・前田利為と酒井伯爵家令嬢・菊子が結婚。100畳の東京・本郷の前田家大広間で古式ゆかしい式典を挙げる。写真は、邸内の祖先霊社参拝後。

朝日新聞社



「国際写真」

▲孫文、死去(3月12日)1912年の中華民国発足で臨時大總統になって以来、七転八起の不屈の精神も肝臓癌には勝てなかった。58歳。写真は19日、北京・中央公園で行われ会葬者が5万人を超えた国葬。

▶クーリッジ米大統領就任(3月4日)1923年、ハーディングの突然の死により昇格、前年の選挙で再選された。52歳。保守派の共和党員で、排日派と言われた。写真は、国会議事堂で行われた就任演説。



「国際写真」



「写真通信」



「イリュストラシオン」

▲マダム・タッソーろう人形館焼ける(3月18日)1835年に創設、ロンドン名物となっていたヘンリー8世と6人の妻たちなど、ろう細工の世界の有名人が被害にあった。写真は、運び出される「生存者」たち。

▶普通選挙法、成立(3月29日)明治以来の運動が、やっと実を結んだ。写真は妥協の結果の成立にほっとする、前列左から加藤首相、高橋農相、犬養毅相、幣原外相ら。女性を含む「完全普選」の実現は、第2次大戦後。

証言・あの日この日 吉野圭三(35)

3月19日(木)〈出勤 午後貴族院本会議にて日本無線電機株式会社法案可決確定す 之れにて多年の懸案問題解決し 重荷を下ろした感じがした〉(吉野俊彦「わが家のルーツ探し」)



吉野俊彦氏

日銀理事をつとめながら、<sup>おうが</sup>研究家としても知られる吉野俊彦の父・吉野圭三は通信省勤務の役人だった。この年、ラジオ放送が始まるなど、通信・放送事業は、新しい段階を迎えつつあったが、圭三は、通信局外信課長として日本無線電機株式会社設立準備に活躍。国際電気通信事業は、もともとは通信省の直営だったが、これ以上の設備拡充は、当時の日本の財政事情から見て無理だった。そこで民間資金を導入して、国策会社として発足させる計画を立てる。圭三は、一貫してこの計画の責任者として奔走。この日、ようやく法案可決までこぎつけたのであった。(山崎行太郎)

▼東京市電で女性の車掌68人誕生(3月20日)東京・青山教習所を巣立ち、各出張所に配属。毎日、午前7時から午後9時まで乗務した。制服は東京市バス車掌の白襟に對抗し、赤襟を特徴とした。



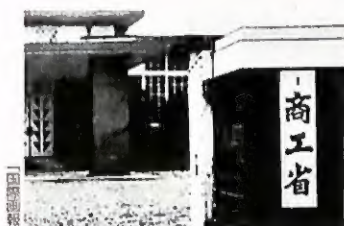
- 大正14年3月
- 1日 ●東京放送局(芝浦)、ラジオ試験放送開始。
  - 2日 ●衆議院、普通選挙法案を修正可決(26日、貴族院で修正可決、29日、両院協議会案成立)。
  - 3日 ●二月一日に起こった「木下重徳邸秘蔵品盗難」長郎襲撃事件、暴漢四人収監して記事解禁。
  - 4日 ●閣議、日本無線電機株式会社法案を決定。
  - 5日 ●東京・洲崎遊廓の火事で約一七〇戸焼失。
  - 6日 ●総同盟と三十三組合が関東労働組合会議を結成。
  - 7日 ●衆議院、治安維持法案を可決(19日貴族院も)。
  - 8日 ●大雪の猪苗代駅で列車一五時間立止。修正可決、5月5日公布。
  - 9日 ●政府、貴族院に貴族院改革案を提出(25日、修正可決、5月5日公布)。
  - 10日 ●政府、日英協定税率を廃棄。
  - 11日 ●東京地検、予言者・飯野吉三郎を起訴。
  - 12日 ●英、国際連盟ですでに三カ国が調印したジュネーブ議定書を拒否し、無効とする。
  - 13日 ●京阪電気鉄道に受電増加の設計変更許可。
  - 14日 ●衆議院、正副議長の党籍離脱を決定。
  - 15日 ●英系トルコ石油会社がイラク政府と期間七五年の石油採掘協定を締結。
  - 16日 ●日本労働総同盟、地方無産政党結成方針決議。ベルリンで「美と力への道」封切。
  - 17日 ●満鉄、二〇九〇人の人員整理を発表。
  - 18日 ●ロンドンの「ろう人形館」が焼ける。
  - 19日 ●衆議院、金解禁決議案を否決。
  - 20日 ●東京市電、初の女性車掌八八人を採用。
  - 21日 ●群馬県佐野村の馬場源八郎が初めて「複製」アイデアを製作、飛行に成功。
  - 22日 ●労働者に学費を加えた国際労働協会、創立。
  - 23日 ●ソ連駐在日大使館、開設。
  - 24日 ●東京帝大医科への合格率、一位は三高と大阪高校、と新聞に。
  - 25日 ●米テネシー州知事、州内の教育機関で進化論を教材に使うことを禁止する法律に署名。今年度予算一億三三四万五千円が成立。軍事費は歳出の二・一割。
  - 26日 ●国際労働会議の労働者代表、鈴木文治出席。
  - 27日 ●陸軍、軍縮にともない四個師団廃止を発表。
  - 28日 ●品川、田端間、複々線開通。
  - 29日 ●近衛文麿、田沢義雄ら、新日本同盟を結成。
  - 30日 ●東京、横浜間、鉄道の電化工事完成。
  - 31日 ●農商務省を廃止、農林省・商工省設置を公布(4月1日、商相兼農相・高橋是清)。
- 震災手形割引の一年の期間延長を公布。

- 大正14年2月
- 1日 ●海軍労働組合連盟会議、国際労働会議代表選挙に鈴木文治を満場一致で推薦決定。
  - 2日 ●栃木県下の六銀行が合同して、野中央銀行開業。
  - 3日 ●衆議院、義務教育費国庫負担増額案を可決。議場は混乱し、暴行事件起る。
  - 4日 ●日ソ間の郵便再開。
  - 5日 ●米で史上初の女性州知事が誕生、就任宣誓式。
  - 6日 ●実業同志会、中止俱樂部および政友本党連合、金輸出解禁決議案を衆議院に提出。
  - 7日 ●島根県隠岐の西郷町で大火、一四〇戸焼失。
  - 8日 ●グアムの海底線故障で日米間の電報が混乱。
  - 9日 ●上海の日本内外綿紡績工場労働者が賃上げ、組合承認を求めスト(3月1日)。
  - 10日 ●英仏にロカルノ条約の原案となるラインラント安全保障条約を提案。
  - 11日 ●中央気象台、気象無線通報を開始。
  - 12日 ●東京など各地で治安維持法、労働争議調停法、労働組合法の三法反対大会、デモ行進。
  - 13日 ●海軍軍備予算、約四五〇万円の追加成立。
  - 14日 ●樞密院、普通選挙法に閣議と協賛成立。
  - 15日 ●樞密院、普通選挙法に閣議と協賛成立。
  - 16日 ●樞密院、普通選挙法に閣議と協賛成立。
  - 17日 ●樞密院、普通選挙法に閣議と協賛成立。
  - 18日 ●樞密院、普通選挙法に閣議と協賛成立。
  - 19日 ●樞密院、普通選挙法に閣議と協賛成立。
  - 20日 ●樞密院、普通選挙法に閣議と協賛成立。
  - 21日 ●樞密院、普通選挙法に閣議と協賛成立。
  - 22日 ●樞密院、普通選挙法に閣議と協賛成立。
  - 23日 ●樞密院、普通選挙法に閣議と協賛成立。
  - 24日 ●樞密院、普通選挙法に閣議と協賛成立。
  - 25日 ●樞密院、普通選挙法に閣議と協賛成立。
  - 26日 ●樞密院、普通選挙法に閣議と協賛成立。
  - 27日 ●樞密院、普通選挙法に閣議と協賛成立。
  - 28日 ●樞密院、普通選挙法に閣議と協賛成立。





▲田中義一、政友会総裁に(4月13日)高橋是清の後を継ぎ、陸軍大臣を辞めて就任。昭和2年には立憲政友会内閣の首相兼外相となり、大陸進出を積極的に推進。写真は7日、入京した田中。



▲▲商工省・農林省、新設(4月1日)商工省は商・工・鉱業、地質、軍需調査などを管理、農林省は農林・水産・畜産、米穀法施行に関する事務などを管理する。農商務省大臣だった高橋是清が、両大臣を兼務。写真は看板を掛け替えた農林省と、道ひとつで分れた商工省。



▲ドイツ大統領に、ヒンデンブルク元帥当選(4月26日)エーベルトを失ったワイマール派に勝利、帝政時代の「国民的英雄」が蘇った。写真は選挙運動中の宣伝パレード。後、超議会政府を組織、1933年にはヒトラーに組閣を命じナチス独裁への道を開いた。

▼パリでアール・デコ展開催(4月29日)この頃のインテリアと工業美術の理想を追求。仏建築家ル・コルビュジエが提唱してきた「理想都市」計画を展示。写真はそのうちのひとつ、「聖なる回転レストラン」。



▲米国移住50年(5月3日)露骨な差別待遇に耐えて、半世紀を迎えたカリフォルニア州の日本人移民たち。前年成立の新移民法により、新しい移民が全面禁止となっただけに、祝賀の感慨もひとしおだった。



「写真通信」

▲レーシングカー転覆(5月3日)東京・代々木練兵場で行われた全国自動車競技大会で、吾妻自動車商会の競走用第7号車が疾走中、突然2、3度宙返り。投げ出された運転手と助手は、それぞれ1週間の働を負った。



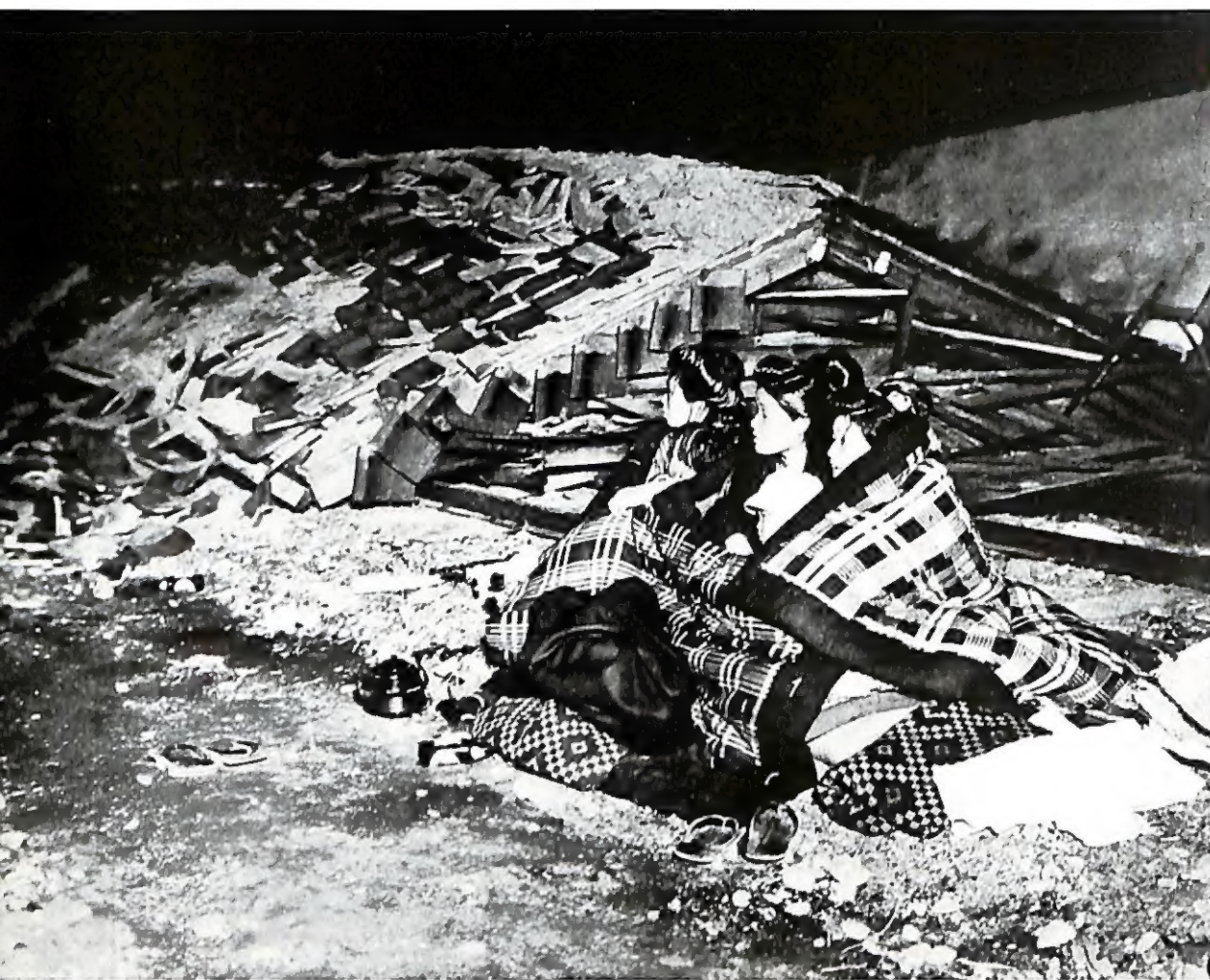
「イラストレーション」

▼上海で「五・三〇事件」起こる(5月30日)紡績工場ストへの虐殺事件に抗議する中国人デモ隊に、英人警官隊が発砲、死者・負傷者数十人。これを契機に上海市がゼネストに。写真は抗議の貼り紙。

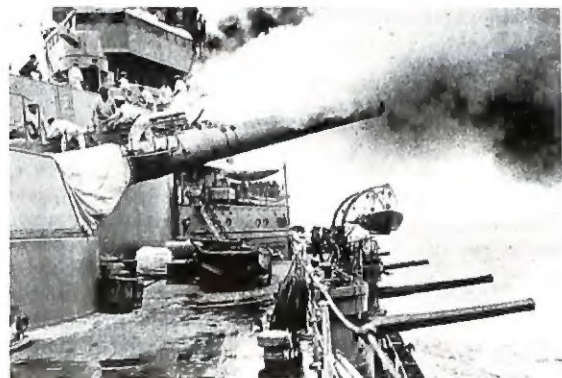


▲天皇ご成婚25年式典(5月10日)陸軍中佐の礼服姿の摂政宮をはじめ、皇族、政府閣僚らが豊明殿に参列。宮内官が、療養中の天皇の代拝を行った。写真は女学生ら、宮城前で銀婚を祝う人々。

「国際画報」



▼日本海海戦20周年記念海軍大演習(5月28日)東京湾の羽田沖で魚雷発射、空爆など壮烈な模擬戦が行われた。写真は、仮装敵軍に16インチ砲を撃つ戦艦「長門」。



「写真通信」

大正14年4月

- 1(水)新橋演舞場、開場(3日、新橋芸妓による第一回「東おどり」公演)。
- 大阪府・東成、西成郡の四四町村を合併し、四区から一三区にのぼる現在の規模に。
- 2(木)銀貨偽造犯、浦和刑務所の独房から脱獄。
- 3(金)八王子で開通もない玉電電車、賃金不払いから工事をした朝鮮人数百人に包囲される。
- 4(土)立憲政友会総裁・高橋是清、引退を表明(13日、大会で田中義一が総裁に就任)。
- 5(日)ツ橋商大での製菓師と歯科医師の試験に試験委員長らが出席せず、開始時刻を延期。
- 6(月)浅原健三、安部磯雄ら九州民権党、結党。
- 7(火)世界最大の米航空母艦「ザラトガ」進水式。
- 8(水)福建軍閥政府、米の対華教育政策に反対する学生の請願運動を弾圧(福州虐殺事件)。
- 9(木)東京米穀先物相場、一石四二円に高騰。
- 10(金)英労働組合会議と全露労働組合中央評議会が労働の国際的統一のための英露委員会を設置。
- 11(土)メイトル法宣伝デーでレラ五万枚配布。
- 12(日)ウェイトレス共助会(女給組合)が発会式。
- 13(月)陸軍現役将校学校配属令を公布。中等学校以上の学校で軍事教練が義務づけられる。
- 14(火)薬劑師法公布。
- 15(水)海軍水路測量艦「満州」が日本南海観測、黒潮・赤道流調査などのため横須賀港出港。
- 16(木)総同盟、関東地方評議会加盟全組合を除名。●ブルガリアのソフィアの教会で爆殺事件。
- 17(金)京城(現・ソウル)で朝鮮共産党結成。
- 18(土)大蔵省、地方銀行の合同・預金協定の施行、整理減配の奨励を地方長官宛に通達。
- 19(日)青島の日本紡績労働者がスト(5月10日)。
- 20(月)東京、大阪、福岡間に初の定期航空郵便。
- 21(火)来福丸がカナダ沖で沈没、三八人溺死。
- 22(水)治安維持法、公布(5月12日、朝鮮、台湾、樺太でも施行)。
- 23(木)文部省、壮丁教育成績調査要領を地方に通達。
- 24(金)初代駐日ソ連大使、コッパが来日。
- 25(土)大阪税務局長のモスリン商からの収賄発覚。
- 26(日)日露交響楽団のモスリン商からの収賄発覚。
- 27(月)加藤首相暗殺未遂事件で、内田良平を収監。
- 28(火)英国のチャールズ王、金本位制復帰声明。
- 29(水)パリのアール・デコ展、開催。
- 30(木)前年米ゴルフ大会優勝の赤星六郎が凱旋帰国。

大正14年5月

- 1(金)「家の光」(産業組合中央会)創刊。
- 上海で劉少奇がプロフィンテルン系の中華全国総工会(初の全国労働組合組織)を結成。
- 2(土)有馬伯爵家、東京美術クラブで書画売り立て。
- 3(日)函館水電の電事従業員がストライキ。
- 4(月)ブルガリア、共産党を非合法化する。
- 5(火)衆議院議員選挙法改正、公布(二五歳以上の男子に普通選挙権、被選挙権は三〇歳以上)。
- 6(水)皇太子妃愛子公女、誕生。
- 7(木)臨時法審議会総会、自由結婚年齢を二〇歳に下げること可決。
- 8(金)日本無線電信株式会社法施行令を公布。
- 9(土)共済信託設立(15年2月、安田信託に改称)。
- 10(日)天皇・皇后ご成婚二五周年祝典が行われる。
- 大阪放送局、試験放送(6月1日、仮放送)。
- 11(月)京都、綾部町会議員選挙に出口王仁三郎当選。
- 12(火)ソ連にウスベク、トルクメン、カザフ加わる。
- 13(水)埼玉県熊谷で大火、八〇〇戸焼失する。
- 14(木)上海の日本内外綿紡績工場でスト再開(15日、労働者一〇人余殺傷、二万人余が抗議スト)。
- 15(金)シベリア出兵で最後まで残った北樺太派遣軍の撤退完了。
- 16(土)鉄道省、東京市の高速地下鉄建設を認可。
- 17(日)大阪府立産業能率研究所開設。
- 18(月)東京農業大学の設立認可。
- 19(火)ジュネーブで第七回国際労働会議を開催。
- 20(水)英下院、未亡人孤児年金・老齢年金法を可決。
- 21(木)警視庁保安課が活動弁士の試験を実施。
- 22(金)日活演劇映画館が不景気で入場料値下げ。特等八〇銭を五〇銭、普通五〇銭を三〇銭に。
- 23(土)兵庫県但馬地方北部に大地震。全壊・焼失三一五八戸、死者・行方不明四一八八人。
- 24(日)総同盟革新同盟全国大会、開催(総同盟から分離して、日本労働組合評議会を結成)。
- 25(月)青島の日本紡績工場で第二次スト(28日、日本と奉天派軍閥がストを弾圧、死者八人)。
- 26(火)内務省、活動写真フィルム検閲規則を公布。
- 27(水)米スエズ運河、ジョンソンが公演のため来日。
- 28(木)青島のストライキに旅順から駆逐艦一隻派遣。
- 29(金)溝口健二監督、同僚中の女性に斬られる。
- 30(土)上海の共同租界で英警官隊、抗議する中国人デモ隊に発砲(五・三〇事件)。
- 31(日)一月以降の神戸など二港の入超額四億八八〇〇万円、と新聞に。



▲宮城の濠に民間機が墜落(6月23日)陸軍払い下げのニューポール81E型機で、宣伝ビラまきをしていたところ、突然故障、二重橋前に墜落した。幸い、乗組員は二人とも無事だった。



▲米サンタ・バーバラで大地震(6月29日)カリフォルニア州南部にある瀟洒な海辺の町が、めちゃめちゃになり、多数の死傷者を出した。写真は、アーリントン・ホテルの惨状。



大正14年6月

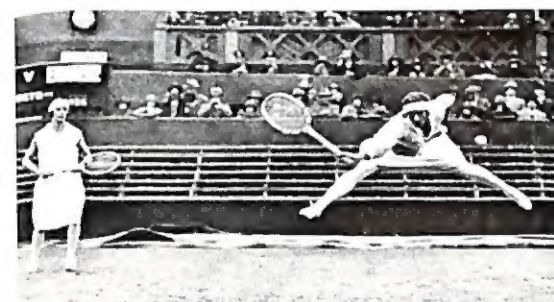
- 1月)ブリュッセルで日本・ベルギー通商条約調印。五・三〇事件鎮圧のため、日・英・仏・米の陸戦隊が上海上陸。全市ゼネスト、戒厳令。
- 2月)京都市中央卸売市場、認可(昭和2年開場)。
- 3月)東京市、交通調査を実施。銀座では、分間に歩行者、三五人、車両六二台が通行。
- 4月)独の狂乱インフレで大儲けしたフーゴ・スチンヌ商会が破綻。
- 5月)警視庁、夜一〇時以降のダンス禁止を通達。
- 6月)大蔵省、前年度の租税一億円以上増収と発表。
- 7月)農林不況で賭博流行。東京・南多摩郡の農民六十余人を検挙。
- 8月)朝鮮総督府、朝鮮史編修会を設置。
- 9月)大日本教、人類愛善会を創立。
- 10月)水)兵部良策、大阪で創立社創業。
- 11月)水)上海で五・三〇事件に対する抗議集会が開かれ、一〇万人以上が参加。
- 12月)朝鮮総督府、中国側と「不良朝鮮人」の取締りにつき極秘協定(三矢協定)を結ぶ。
- 13月)大蔵省、減配助行に尽力するよう再度通達。
- 14月)独「マンハイム」の芸術展、開催。
- 15月)北里三郎博士の長男が芸妓と心中未遂。
- 16月)仏は安全保障条約についての独提案を承諾。
- 17月)ジュネーブの武器貿易国際会議で、列国が戦時軍火の使用禁止などの議定書に調印。
- 18月)警視庁、大阪の秘密結社「黒社」の幹部二人を最初の治安維持法違反で検挙する。
- 19月)在支日本紡績同業会(10月、在華に改称)設立。
- 20月)金)香港の労働者、上海に呼応してゼネスト開始。
- 21月)南海州鉄道の社債一億円募集案、可決。
- 22月)日)浜松駅機関庫に落雷、保線区員が感電し重傷。
- 23月)英語版「源氏物語」、ロンドンで刊行。
- 24月)火)政府、婦人児童の売買禁止に関する国際条約(大正10年)につき、適用年齢などを留保宣言。
- 25月)水)三宅市、神戸サラリーマン・ユニオン結成。
- 26月)木)東京放送局に初の女性アナウンサー誕生。
- 27月)金)上海のゼネスト終了(対日ストは9月まで)。
- 28月)土)女性車掌(最低五一円)より低い賃金の給与改善運動盛り上がり、と新聞に。
- 29月)日)各婦人団体が合同で連大婦人招待会開催。
- 30月)日)香港労働者一万人、広州に引揚げ開始。
- 31月)火)北極大権会社代表一行、ソ連へ出発。



▲廣州・沙基事件起こる(6月23日)排外デモを行う数千人の学生・労働者らが、広東の租界・沙基で英仏陸戦隊の銃砲撃を受け、50人余が死亡。中国広東政府は抗議のため、対英経済断交を宣言。写真は遺体の搬送。



▲陸軍馬術競技大会、開催(6月16日)愛馬「初緑」で来場した摂政宮、宇垣陸相らの見守る中、東京・代々木練兵場で近衛および第1師団の騎兵が、次々と妙技を披露。



▲京劇の名優・緑牡丹、来日(6月29日)まだ19歳ながら、梅蘭芳と並び称される女形。俳優ら32人をともなって東京着。7月1日から東京・帝国劇場で公演を開始した。

▲目立つ女性の活躍(6月22日)英国ウィンブルドン・テニス大会の女子ダブルスで熱戦(写真)。結局、1919年から5連勝のランラン・ライアン組が、前年の雪辱をはたした。

「現場」を歩く

山本徹美

# 本郷

大学紛争後の改修も再び  
「安田」が負担した東大講堂

大正一四年七月六日午後三時、東京大学で大講堂の落成式が行われた。別名「安田講堂」と呼ばれるように安田銀行(現・富士銀行)の創業者にして一代で大財閥を築いた安田善次郎が寄贈したものである。大正九年頃、善次郎と交流のあった村上専精文学博士が、「本学には全学生を収容できる講堂がなく、卒業式に天皇行幸の際、便殿(天皇・

皇后の休憩所もない」と、訴えたのがきっかけで、寄付を即断即決。同一〇年七月文部大臣の許可がおりると、一一〇万円を寄付した。その二ヵ月後、九月二八日午前九時すぎ、善次郎は大磯の別荘に在宅中、面会を求めてきた暴漢に刺殺される。享年八二。

講堂の方は同年末、内田祥三(第一四代東大総長)・岸田日出刀による概略設計図が完成。面積六九〇平方尺、鉄筋コンクリート造り四階建て。塔屋部は九階建てで高さ三九・七尺。三階と四階が半円形をした講堂の構造で、竣工時の座席数は一七三八であった。

昭和三年三月、初めて卒業式会場となり、同二四年からは入学式の会場としても利用されるようになった。が、昭和四年三月、研修医制度への反対と大学側の医学生処分に抗議して「全学闘」(医学部全学闘争委員会)が安田講堂を占拠。同二八日の卒業式は中止。四月一二日の入学式は約二六〇〇人の新入生が入場して挙行されたものの「全学闘」が突入、混乱のうちに閉幕。それから約一年間、安田講堂は東大紛争の「砦」と化す。

## 時計台か講堂か

平成一〇年春、東大を訪ねてみた。正門に立つと、正面に海老茶色の安田講堂がでん、とそびえている。かつて全学闘の学生でびっしりと埋まった前庭は、今では人影もまばら。大講堂入り口は固く



▲大正13年10月25日に举行された、大講堂の上棟式。工事は前年2月に開始されたが、9月の大震災で半年の間、中断した。

閉ざされていた。ここは一階に見えて実は三階。段差のある土地に建っているせいで、両脇に階段がある。一階には学生部厚生課と学生センターの看板がかかる。「大学紛争の後、昭和四十六年五月に学生部など事務局の一部が大講堂に復帰しました。その後、大講堂利用計画懇談会を設置、平成元年から改修工事にかかり、平成六年七月、便殿など含め工事は完了しました。現在は春季と秋季に開かれる公開講座や学会シンポジウム、卒業式などに利用しています」(東京大学広報課)。

改修工事費八億円を善次郎ゆかりの芙蓉会四社(富士銀行、安田生命保険など)が負担した、と聞くとどこまでも「安田」の講堂か、との印象を抱いてしまう。

「全学闘たちは『時計台』と呼んでいた。講堂に愛着を持っていたとしたら彼らくらいで、OBの大部分は特別な感慨など抱いていないのでは」(ある卒業生)。

大講堂が本学に必要だったのか、善次郎翁の呻吟が聞こえてきそうである。



## ベストセラー

# 雑誌界の王者「キング」 大衆の欲望にこたえて創刊

谷崎潤一郎の「痴人の愛」がこの年七月に刊行され、翌月には三〇版を重ねるほど、よく読まれた。経済的に余裕のある二〇代後半のサラリーマンが、一五歳の少女・ナオミを引き取り、教養を身につけさせたり、趣味をハイカラなものにさせたり、自分好みに育てていく――官能的な要素の強い谷崎独特のファンタジーだった。ナオミはモダンガールの最先端を走る女性として、映画（作中では「活動写真」）の話やファッションを通して具体的に描かれており、十分刺激的な存在だった。

また堀口大學の訳詩集「月下の一群」が刊行されたのも、この年である。一〇年間の翻訳の中から、フランス近代の詩人六六人の作品三四〇篇を自選したもの。みずから「見本帖」という表題にしようとしたほど、フランス近代詩を概観できる内容を備えていた。ボードレール、ヴェルレーヌ、アポリネール、コクトーなど、そうそうたる詩人たちの作品と、彼らの似顔イラストが並べられた、七〇〇余りの堂々たる訳詩集だった。



▲「痴人の愛」(改造社、2円)

この年、講談社から雑誌「キング」が創刊されたのも、この時代を象徴する出来事だった。なにしろ発刊の辞にいきな「キング」は「雑誌界の王者である」と宣言し、その内容の多岐にわたることを「……政客となつては国家百年の大計を画し、軍人となつては国防の急務を論じ……或は白痴の老翁となり、或は無垢なる少年となり……千変万化、不思議なる妙術をその身に体得している」というのだからすごい。実際、創刊号では、高橋是清が生真面目に天下国家を論じているかと思えば、無名子ナンセンスな各界番付を楽しんだり、村上浪六や吉川英治が小説を書いたり、まさに大衆の多様な欲望にこたえようとする雑誌だった。



▲「キング」(大日本雄弁会講談社、50銭)



▲「月下の一群」(第一書房、4円80銭)

▲「月下の一群」に掲載された「ギイヨーム・アポリネール像」。

## スターと名場面

# 「阪妻人気」を不動のものに 「雄呂血」の大立ち回り！

阪妻三郎主演の時代劇「雄呂血」(二川文太郎監督)がこの年公開され、阪妻人気を不動のものにした。牧野省三が総指揮者として名をつらねている。阪妻は性格のために次第に世間からうとんじられ、ついに無頼漢(ならず者)の烙印を押されてしまうというストーリー。追い詰められていく阪妻が、ついに堪忍袋の緒を切つて暴れまくる場面には、悲壮感と爽快感があり、大いに受けた。洋画では、フリッツ・ラング監督の冒険活劇「ジークフリード」が話題を呼んだ。



マツダ映画社提供(3点とも)



▲「雄呂血」で見せた阪妻三郎の大立ち回り。表情も豊かな乱闘シーンだった。



▲「ジークフリード」の冒頭、ジークフリードが小人に案内され、妖しい森に分け入っていく。

だ。怪獣が火を吹いたり大量の血を流す場面や、ジークフリードが透明になって活躍する場面などの特殊撮影は、映画の面白さを堪能させるものだった。また、バスター・キートンの長編映画がこの年初めて日本で公開された。作品は「荒武者キートン」。列車で偶然乗り合わせ恋をした女性が、実は自分の敵の娘だったと知ったキートンが、彼女の兄弟たちを相手に獅子奮迅の活躍。随所にもりこまれたユーモラスな映像が映画ファンをすっかり魅了した傑作である。

この年、ほかにも次のような作品が公開された。かつこ内はおもな出演者。

「月形半平太」(澤村正二郎) 「日輪」(市川猿之助) 「虚栄は地獄」(滝田静江) 「キーン」(イヴアン・モジューヒン)

## モノ語り'25

# 木製容器入りの「星印北海道バター」に ポマードと間違えられた 「キューピーマヨネーズ」 食の欧風化に向けて「国産品」事始め！



▲いよいよ放送メディアの時代に ラジオの試験放送がこの年3月1日に東京放送局で始まったが、それに伴って早川金属工業研究所(現・シャープ)は、受信機として「さぐり式小型磁石ラジオ」を売り出した。木製のフレームに、磁石、バリアブルコンデンサー(可変蓄電池)、コイルを組み合わせたもので、価格は3円50銭と、さすがに高価なものだった。真空管式も開発されていたが、もっと高価なものだった。

撮影：乙咩雅一・NHK放送博物館蔵



▲記念切手発行とともに進む印刷技術 この年、外国郵便料金が値下がりになり、それを機に新しい切手が発行された。日本の代表的な風景を採用した、いわゆる「風景切手」である。国際化を意識した絵柄更新だった。一方で、大正天皇銀婚式の記念切手が発行され、切手の周囲のマージン部分を初めて銀色インキでオフセット印刷したものも発行されるなど、印刷技術も一段と進歩した。お札と切手の博物館蔵



▲ライカの向こうを張った優れもの ドイツで35ミリ小型カメラ「ライカ」が発売されたこの年、小西六本舗(現・コニカ)は、コダック社のベストポケット・コダックの長所を取り入れた「パーレット」を発売した。蛇腹引き出し式のロールフィルムカメラで、画面サイズはベスト判。近接撮影用アタッチメントレンズつき。折り畳みの蛇腹を引き出せばそのまま撮影可能な、固定焦点の便利さが受けて、1台25円という価格にもかかわらず戦前国産カメラのベストセラーとなった。



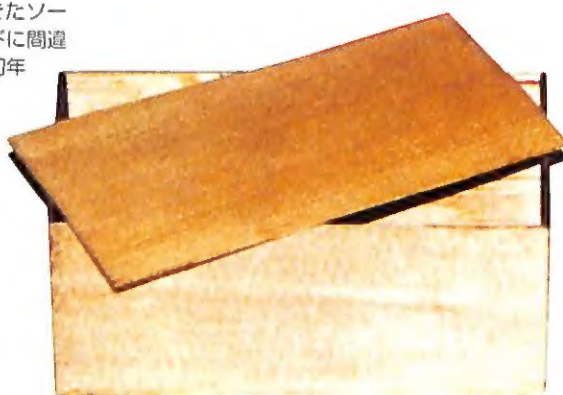
▲お洒落にも銀座のイメージを求める 資生堂はこの年、「銀座」というブランドの香水を発売した。黒いボトルで、夜の銀座を人々が行き交う情景を表現したもの。「西にコティの香水(パリ)があるように、東に資生堂の香水(銀座)があり」という宣伝コピーが話題になった。

## 舶来品より安くてよいものを

「キューピーマヨネーズ」を作ったのは中島重一郎さん。農商務省の海外実業練習生として英米で街話の研究を行っていたが、マヨネーズに着目、日本で普及すると判断し、帰国後「脱サラ」をして食品工業という会社を興した。しかし、まだまだ食卓にのるには早かったようで、初めは、とにかくどういものかを知ってもらうのに必死だった。生野菜を食べる習慣がなかったため、魚料理につけるイメージで販売していた。写真は当時のパンフレットで、キューピーが持っている皿の上にも鮭の料理が載っており、それにマヨネーズがかけられている。



▲マヨネーズを食卓に浸透させるために作られたパンフレット。



▲初めは木箱に納められていたバター 北海道の酪農を発展させ、日本の酪農の一大拠点にしようと考えた人たちが、牧場作りや乳牛飼育を協同で行う北海道製酪販売組合(現・雪印乳業)を旗揚げしたのが、この年。さっそくバターの製造にも取りかかったが、攪拌機も手回しなど、すべて手作り。最初は販路も決まっていなかったが、酪農発展のためにと、明治屋などが協力してくれて「星印北海道バター」の販売にこぎつけた。明治屋では400グラム入り1円35銭で販売。写真は当時の容器で、木製だった。





▲晩年の牧野省三 明治40年（1907年）本報発行時14歳、20年間に1350本の映画を製作 長男のマキノ正博など多くの監督、スター、俳優を育成した 牧野省三・提供

## 人物クローズアップ

# 牧野省三（四六）

「阪妻」や「アラカン」も発掘！

「日本映画の父」、独立プロ創立

京福電鉄・北野白梅町駅から三つ目の妙心寺駅の北側に、大正四年六月、牧野省三（四六）が御室撮影所を開設し、同時に映画製作会社・マキノプロダクションがスタートを切った。

牧野は四年前の大正二年四月、日活京都撮影所を辞め、同年九月にマキノ教育映画製作所を設立。撮影所を、自宅に近い北野の等持院境内に開設した。常日頃「歌舞伎はあかん」と言い、真に迫った立ち回りを主張していた牧野の、独立第一作が「実録忠臣蔵」だった。実感あふれる写実的な画面が客席にぐいぐいと迫る。この試みは成功し、二年四月、マキノ教育映画製作所はマキノ映画製作所に発展。さらに一月には、資本金五〇万円のマキノキネマに規模を拡大し、マキノの製作する時代劇映画は質量ともに他を圧倒した。

しかし、マキノの台所はいつも火の車だった。一三年六月、マキノキネマは東亜キネマに等持院撮影所ごと身売りをする。牧野が作家の直木三十五と出会ったのは、その後だった。直木は、各界の第一人者を集めて連合映画芸術家協会を発足、独立プロが自由競争によって製作・

公開ができるよう、映画界の刷新をめざしていたのである。マキノプロの設立には、こうした背景があった。

牧野省三は、明治二十一年九月三日、京都府桑田郡山岡村（現・京北町）生まれ。しかし、父母はその年に離婚し、省三は母・弥奈のもとで育った。牧野の姓は母方のものである。離婚した母は芝居小屋と置屋を経営、また義太夫芸妓でもあったことから、出稽古などをして子どもたちを育てた。牧野の家を継いだ省三は、母の手伝いをしながら、芸事や芝居のノウハウを身につけていった。明治三十四年、芝居小屋は改装されて下本座となり、省三はその座主をまかされ、劇場のいっさいを切り盛りすることになった。牧野と活動写真とのかわりは、横田商会（後の日活）の横田永之助との出会いにあった。活動写真に先鞭をつけようとしていた横田は、狂言作家で演出家で、経営者でもある牧野に目をつけたのである。明治四〇年のことだった。

映画人としての牧野の最大の功績は、「目玉の松ちゃん」こと尾上松之助の抜擢だった。松之助のほかにも、牧野のまわりには才能豊かな俳優たちが集まった。

日活独立後の牧野教育映画製作所には、阪東妻三郎が入社。大スターとしてマキノの全盛時代を作りあげた。またマキノプロには、市川右太衛門、嵐寛寿郎、片岡千恵蔵などの若手が入社。今までにないさつそうとした演技で、たちまちスターの座にのし上がっていった。

映画評論家の品田雄吉氏は、牧野省三を次のように評価する。

「映像でしか表現できない活動写真の面白さを、徹底的に追求した人だと思えます。それまでの活動写真は、舞台から脱却できなかったんですね」

しかし、マキノプロの繁栄は長く続かなかった。昭和四年七月五日、牧野が五〇歳で亡くなると、経営難が、氣に表面化、俳優陣も四散して、昭和七年、その短い歴史を閉じるのである。



▶大正一五年、日活の「忠臣蔵」池田忠雄監督に出演中の尾上松之助（中央右）を、陣中見舞いに訪れた牧野。松之助はこの年及した。

## 画映ノキマ



▲マキノプロの機関紙「マキノ映画」表紙は堀江二郎の肖像画



## 決定的瞬間

# 「ヒコキー野郎」に喝采！ 大戦の英雄たちが生んだ 華麗なる曲芸飛行の時代

時速一〇〇キロで飛んでいる飛行機の翼の上でテニスをする「ヒコキー野郎」たちがいる。もちろん、彼らは命綱で体を固定して、この演技を行っているのだ。地上にいる観客は、料金を払って危険なショーを楽しんでいる。それは一見のどかで平和な光景だが、第一次世界大戦が終わって「もう戦闘機乗りはいらない」という現実を如実に伝えている写真でもある。

飛行機は一九〇三年にライト兄弟が「フライヤー」で動力飛行に成功（飛行距離三六・五メートル、飛行時間：二秒）して以来、

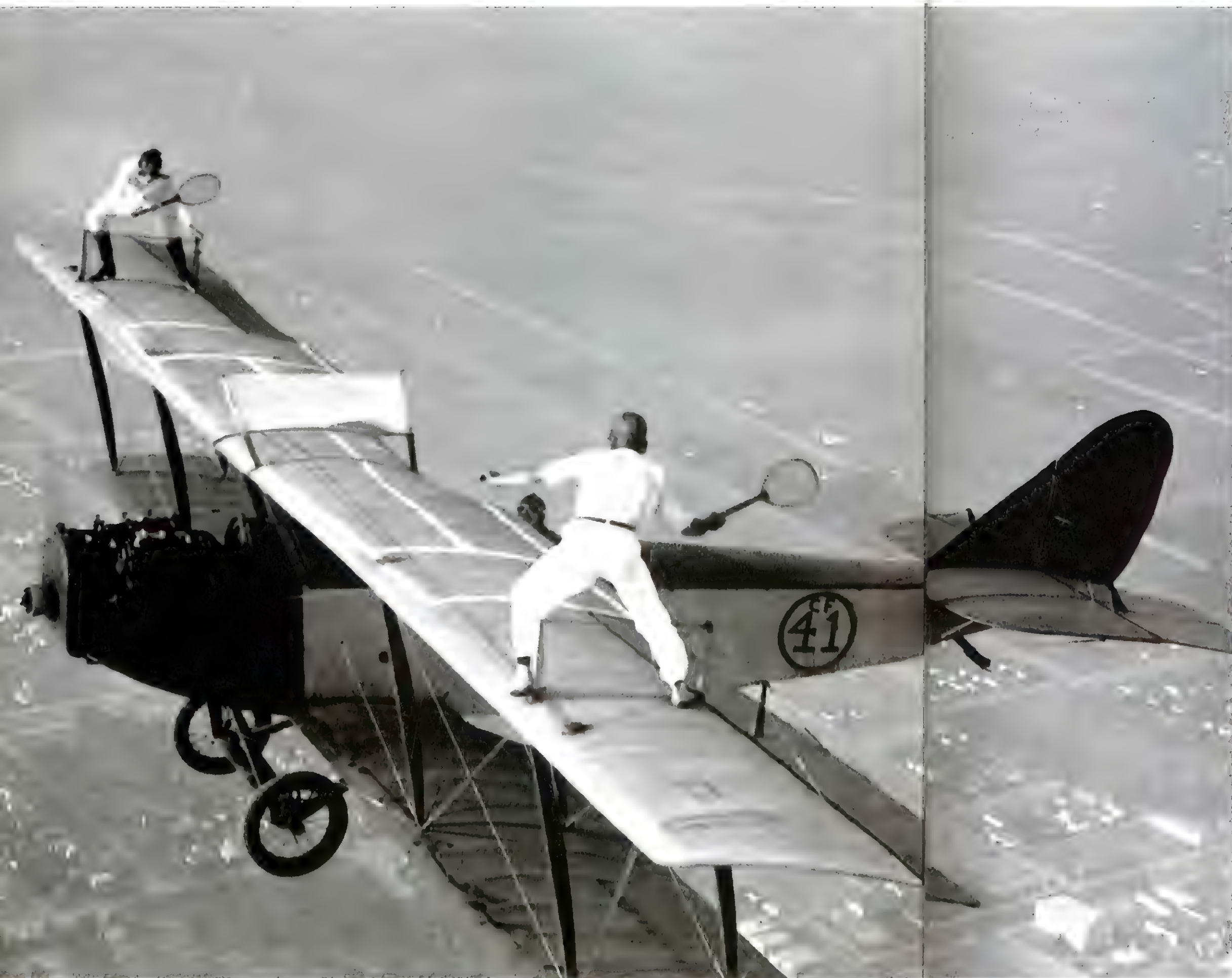
特に一九一四年に勃発した第一次世界大戦を機に、飛躍的に発展する。大戦中に製造された飛行機の数、枢軸国、連合国合わせて一七万七〇〇〇機にものほり、エンジンや飛行技術の進歩で、軍事利用の範囲は偵察から空中戦、空爆へと広がっていった。中でも空中戦は、技術、経験、勇気などきわめて人間的な総合戦として、数多くの英雄を生み出した。敵機を五機以上撃ち落とすと「エース」といわれ、イギリスで五三人、ドイツで六五人、フランスで五八人、アメリカで八八人のエースが出現した。ドイツの赤髭男爵、マンフレッド・フォン・リヒトフォ

ーヘンは敵機を八〇機も撃墜して、第一次世界大戦最高のエースと賞賛された。大戦の後半（一九一七年四月）から戦争に参加したアメリカでは、一年後の終戦とともにパイロットたちが「失業」し、大量の飛行機が余剰物資となった。特にジェニー機（JN-4D型練習機）は数千機が戦争終結後完成したため、一機三〇〇ドルという安値で放出される。アメリカ空軍の英雄たちは、こうした飛行機を手に入れて農業散布やニュース写真の空輸、郵便輸送、旅客輸送（乗客は一人か二人しか乗せられないので儲けがなかった）などの仕事に従事した。一九二七年にニューヨーク・バリ間を、初めて単独無着陸で飛んだリンドバーグも、航空郵便パイロットだった。

ところが、一方では密輸品（おもに酒）の輸送に手を染めたり、遊覧飛行や空中サーカスのパイロットとして稼ぐ一匹狼的な男たちもいた。当時の模様をリアルに描いたロバート・レッドフォード主演の「華麗なるヒコキー野郎」（一九七

五年、ユニバーサル）という映画は、草原に降り立った主人公が「わずかに」で、天国の五分間が体験できるよ」と遊覧飛行の呼びこみをするシーンから始まる。映画には、空中サーカスをしながら地方巡業をする一団が登場する。彼らは飛行機で宙返りをしたり、飛行機から飛行機に移ったり、という過激なショーで観客を喜ばせる。しかし、曲芸飛行をするパイロットたちの心の中には、空を飛び続けたいという願望と、第一次大戦で勇敢に戦ったという誇りがあった。映画の主人公はかつてのドイツの英雄と出会い、お互いの技量を競い合うことになるが、そこには時代に取り残されていく空の英雄たちの哀感が描かれていた。

一九二〇年代は、禁酒法とチャールストンに代表されるにぎやかな時代として記憶されているが、パイロットたちにとっては生きにくい時代だった。複葉機から単葉機へ、空中戦から郵便、旅客輸送へと変化していく時代のはざまを、ヒコキー野郎たちはアクロバット飛行をしなが



▲機上での曲芸飛行は、当時の娯楽をあげた曲芸のひとつだった。熟練したパイロットである「華麗なるヒコキー野郎」たちにとって、曲芸は見かけほど危険なものではなかった。だが、飛行で得る報酬はごくわずかなもので、

顔はごくわずかなもので、



# パリを描き、パリに散った 夭折の天才 佐伯祐三 サロン・ドートノンヌ入選！

大正一四年、モンパルナスの駅に近いパリ一五区リュ・デュ・シャトーにあるアトリエで、一人の日本人画家が全力をふりしぼって画業に打ちこんでいた。パリ滞在二年目になる佐伯祐三（一七五）である。彼は、一〇号（普通五三×四五・五）から二〇号のキャンバスを、日に三枚も描き上げるような日もあった。古いパリのたたずまいが残り、場末らしい商店の壁には広告が何層にも貼られているこの街に魅せられた佐伯は、街角にイゼル（画架）を立てることもあった。

この年の九月、彼は第一八回サロン・ドートンヌに初めて「コルドヌリ（靴屋）」と「煉瓦屋」を出品し入選。同時に妻の米子（一七）が出品した「アルルのはね橋」も入選した。サロン・ドートンヌは、九〇三年にマチスやルオー、マルケらによって創立された美術公募展で、毎年秋にパリで開催されている。同展への入選は、画家をめざすものにとって大きな励みであった。入選の知らせに米子は大喜びだったが、佐伯の関心は別のところにあった。ようやくパリのモチーフを見つけたという感動を得たのである。佐伯自身も友人にあてた手紙の中で「サ

ロン・ドートンヌ」というのは、日本できくとよいが、中々そんなに立派なものではない」と、あまり喜んだ様子は感じられない。

ところが展覧会の初日に、ドイツの絵具会社に作品が売れ、その後、アトリエを訪れた客に、七枚の作品が売れ、「四、五百円もつけたのはありがたかった」と彼は手紙に記している。これまでやってきた手法に、佐伯はたしかに手ごたえを感じ取ったようだ。

明治三一年四月二八日、大阪府西成郡中津村（現・大阪市北区中津）の光徳寺住職の次男として生まれた佐伯祐三は、北野中学校四年生の頃、赤松麟作の画塾にかよひ、大正六年に上京し、川端画学校で藤島武二の指導を受けている。そして翌七年には東京美術学校西洋画科に入學。在学中の九年に池田米子と結婚し、豊多摩郡落合村にアトリエを新築する。

大正一〇年に作家の武者小路実篤の家でゴッホの「向日葵」を見せてもらい、次いで同級生の山田新一が丸善で入手したボラール版「セザンヌ画集」を見たことが、佐伯のパリ行きに火をつけた。

東京美術学校を卒業した翌年の大正一

三年一月三日、佐伯祐三は妻・米子と長女・彌智子をとめない、パリに到着。本格的に画業に取り組もうとする。だが佐伯芸術が誕生し、奔流を開始するのは、その年の夏、フォーヴィスム（野獣派）の巨匠・ヴラマンクとの出会い以降である。彼はパリ滞在三年になる画家・里見勝蔵にとまなわれ、五〇号の「裸婦」を持ってヴラマンクを訪れた。この時の出会いについて、佐伯の中学時代からの友人である阪本勝は評伝「佐伯祐三」の中で、次のように記している。

「佐伯の作品を前にしたヴラマンクは、『アカデミック！ アカデミック！』とさげすむように言って、二人がその家を辞去するまで、一時間半もアカデミック攻撃をやめなかった」

ヴラマンクから見ると、佐伯の作品はあまりにも「アカデミック」だったのであろう。ヴラマンクに「喝をくらった佐伯は、この訪問から帰った後、妻・米子が驚くほど人が変わったように画業に打ちこんでいった。その直後に描かれた『自画像』の激しい筆致を見ると、ヴラマンクとの出会いの衝撃がいかに大きかったかがうかがえる。

大正一五年に一時帰国した佐伯は、九月の第三回・科展に、パリで描いた、九点の作品を特別出品して、科賞を受賞した。国内で沸き上がる称賛の声を後に、昭和二年八月、佐伯は進行する結核を抱えて再度パリに向かう。日本では彼の画題となる風景をみいだすことができなかったからである。

第二次パリ滞在の五ヵ月日には、一〇枚を超す作品を描くほどのすさまじいばかりの制作を続ける。しかし、翌三年、「郵便配達夫」「ロシアの少女」などの傑作を最後に、佐伯祐三はセーヌ県ヴィル・エヴラル精神病院で三〇歳の短い生涯を閉じた。



▲佐伯祐三。制作に没頭するあまり、神経をも衰弱させていった



▲「コルドヌリ（靴屋）」大正一四年。油彩、54×47センチ。パリのアトリエの並びにあった靴屋を描いたもの。同じ店先を何点か制作しているうちの一枚である。



▲「郵便配達夫」大正一三年。油彩、79.5×63.8センチ。モデルは、アトリエの主人・米子の配達人。この頃微熱が続いていた佐伯は、この作品を描いた後、おもむく大略画を起こす



# 20年ぶりの早慶戦、そして東大も参加 “日本最強”を決める真剣試合にファン熱狂! 「東京六大学野球リーグ戦」戦、スタート!



▲大正14年「六大学」のメンバー。後列は早稲田、清水(東大)、青木(慶大)、前列右より水室(早大)、林(明大)、原(立大)

大正二四年秋、二〇年ぶりに早慶戦が復活し、帝大(東大)も加盟した六大学野球連盟が結成された。第一シーズン目の覇者は一〇勝一敗の早大、そして今日までの二七シーズンの熱闘の中から数々の名選手が生まれ、日本野球界の礎を築き上げたのである。

## 六大学野球リーグ 最初の覇者は早大

「私を六大学野球の礎にしたのは、早稲田大学とアメリカのシカゴ大学の試合を戸塚球場(後に安部球場)で兄と観戦中の写真が、翌大正、四年九月、四日の『東

京朝日新聞』に載ったからです。もう感激でした。当時小学校六年生の、一歳翌年の中学受験を控えていたが、母を説得し船橋から汽車で向国、そこで市電に乗り継ぎ、二時間以上もかけ、取りつかれたように野球を観て歩きましたよ」  
こう語るのは、野球熱が高じ、その後



▲「会式一」機。こういう物体が宙に浮かび上かるというのは、やはり不思議なことだ。



▲手前に「セスナT310QGA」が分解展示されている。操縦席に入って、ヒコキ乗りの気分を味わうこともできる。右奥に民間機として活躍した「セスナ170B」機が見える。

さかのぼれば、所沢飛行場は明治四四年に日本で初めてできた飛行場であり、終戦まで日本軍の重要な基地だった。つまり所沢という地は、もともと飛行機と縁の深いところだったのである。  
だから、最寄り駅の西武新宿線航空公園駅の前に飛行機がでんとおいてあっても不思議はないのだ。とは言っても、初めてこの地を訪れる人はど肝を抜かれることになる。日本初の国産旅客機としてつい先だってまで活躍していた「YS11型」機の実物が、目の前にあるのだから。そして、この驚きがおさまらないうちに「航空発祥記念館」に着く。  
建物の中に入ると、玄関ホール頭上に、複葉機が機浮かんでいる。明治四四年



▲手前は、長さ六メートルという大きな客室を持つヘリコプター「バートル44」。その向こうに見えるのは、名機「シコルスキーSS」だ。

に所沢飛行場で陸軍の国産機初の公式飛行に成功した「会式一」機である。エンジン、馬力は現在の軽自動車程度。専門家に言わせると「よく飛んだもの」だそうで、いつも墜落とは紙一重だった。当然この頃の飛行家は、誰もが際どい体験をしていた。大正、四年に操縦士になった岩田正夫も、その一人だ。岩田は操縦士になると、さっそく郷里の埼玉県比企郡に訪問飛行を行った。これには郷土の人々も興奮し、いち早く着陸地点に近づこうとした。まだ飛行機の着陸の様子も知らないのに、無理もないことだった。岩田はこれを避けようと急上昇を始めたが、機体の一部が上手に触れてしまったという。幸い墜落はまぬがれたが、この時に損壊した機体の一部が館内に展示されている。目立つようなものではないが、黎明期の飛行機が人々にもたらした興奮がそこから伝わってくる。



▲記念館に近く前、駅前までいきなり出会う「YS11型」機。ここでは、まさに飛行機の町にある

た興奮がそこから伝わってくる。ところでこの記念館には、合計十数機の小型飛行機やヘリコプターの実物が並べられたり吊るされたりしている。どれもこれも、いわゆる名機だ。映画の中で、あるいは報道写真で、はたまた飛行場の近くで目にしたことのある機も少なくない。しかも、これらをただ眺めるだけでなく、機内に入ったり、ディテールを確かめることができるのだ。  
ほかにも、飛行の原理や動植物の飛行の様子などが見られるコーナーや、ジャンボ・ジェット機の操縦シミュレーション・コーナー、コンピュータによる飛行機データ検索コーナーなどもあって、マニアならずとも、じっくり飛行機という二〇世紀を象徴する技術成果を楽しむことができる博物館なのである。  
●所沢航空発祥記念館  
埼玉県所沢市並木一丁目地内  
電話〇四二九、九六、二二二五  
西武新宿線航空公園駅下車、徒歩八分  
開館時間九時半～一七時  
休館日月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始  
入館料一般五二〇円

## 20世紀博物館

桑原茂夫

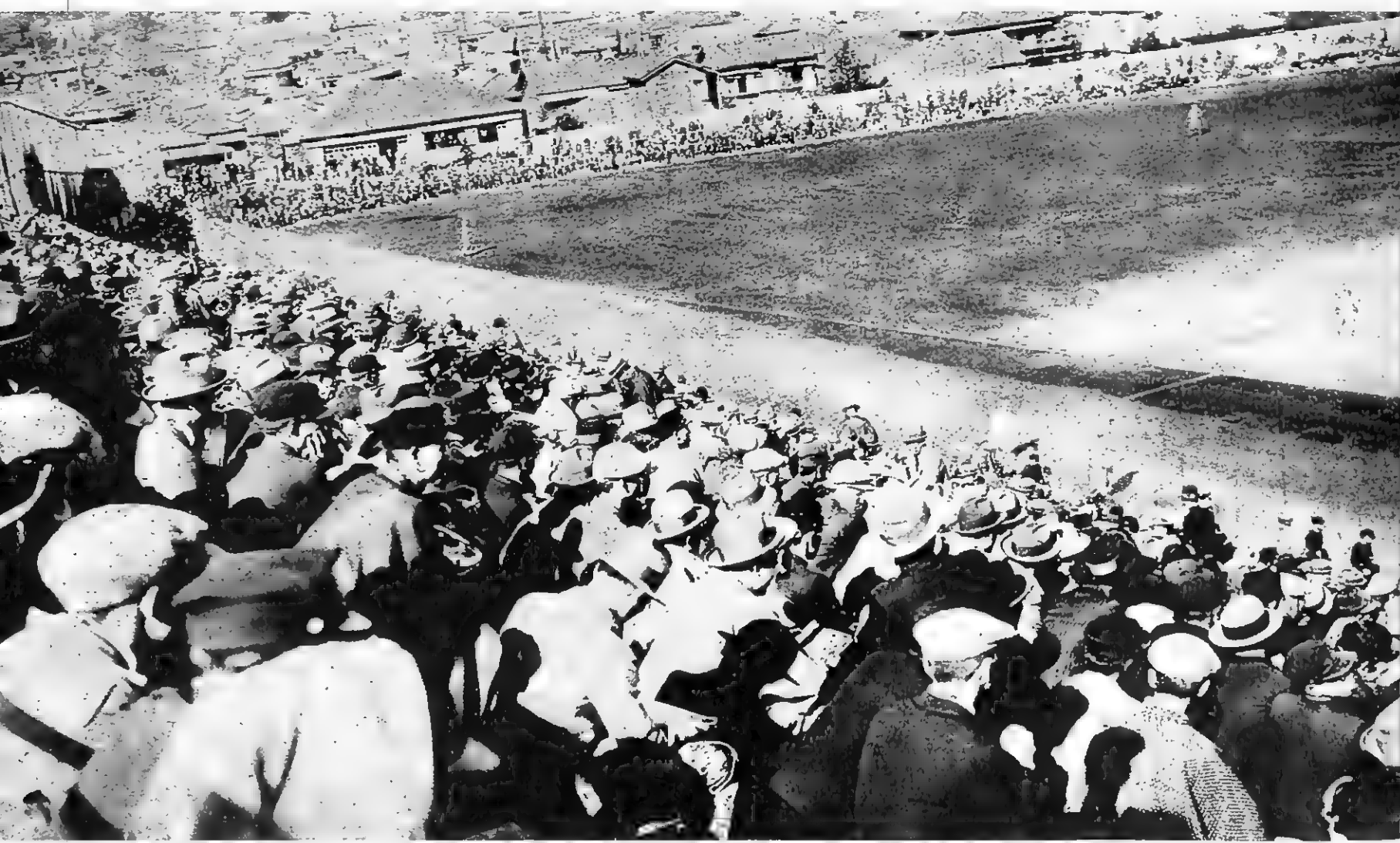
## 所沢航空発祥記念館

埼玉・所沢市

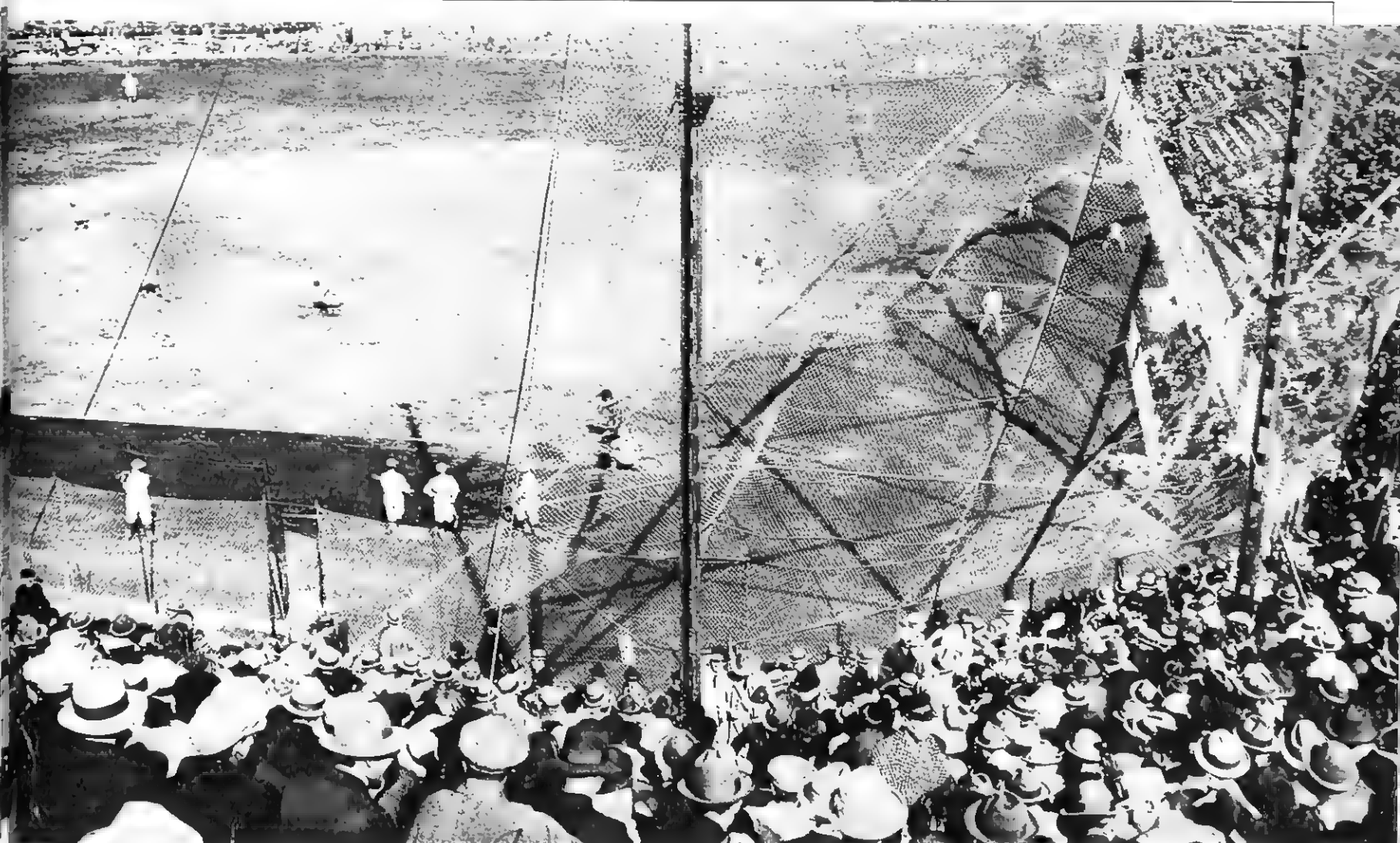
国産一号機「会式一号」はじめ数々の名機で  
楽しむ「革命的技術の粋

この「所沢航空発祥記念館」は、昭和五〇年まで米軍の補給基地として機能していた所沢飛行場の跡地にある。もつと





▲10月19日の復活早慶戦の初戦に、早大 戸塚球場を立錫の余地なく埋めつくした大観衆。午後2時30分、熱戦の火蓋が切られると、歓声は「雷のごとくに」轟いた、と当時の新聞



は伝えている



▲早大のスラッガー 井口新次郎 大正一四年  
昭和五年秋、リック初優勝の法大 鈴木茂投手

### 一三七シーズンの熱戦で 優勝回数トップは法大

日本の野球は学生野球として始まった。初のチームは、明治一二年、アメリカから帰国した鉄道技師・平岡源が結成した「新橋倶楽部・アスレックス」で、学生を招いては野球を広めていった。それが全国の旧制高校へと伝わり、明治二〇年代の「高野球黄金時代」を築き上げる。そして、「打倒一高」の旗手として登場したのが、早稲田と慶応であった。その後、明大野球部も誕生、この三大学で、大学野球の組織化が話し合われたの

熱戦したファンは午前九時の開門を待ち切れず、午前四時には球場のまわりに姿を現した。入場料の相場は内野が一円、外野五〇銭と、公務員の初任給に五円からみて、けっして安くはなかったが、正午には一万五〇〇〇人収容のスタンドは超満員となった。しかも、球場に入れなかった人たちは、付近の屋上や電柱に鈴なりになるありさまであった。シートノックの後、早大の安部磯雄教

授戦した試合の入場券、雑誌や新聞など、六大学野球の宝物とも言える貴重な資料を保存している財団法人野球史料保存館理事長の吉澤善吉氏（現・八四歳）である。第一回の六大学野球リーグ戦の開戦戦は、大正四年九月一〇日の日曜日、駒沢球場で行われた。対戦は明治大学と立教大学。午後五時五十分から始まったこの試合は、七対一と明治大学が圧勝し、リーグ緒戦を飾る。そしてその後、各校、試合すつ総勢たりリーグ戦が繰り広げられていった。とりわけ注目を集めたのは、一〇年ぶりの対戦となる早慶戦であった。明治九年、過熱した両校の応援団の感情が険悪になったことから、早慶戦は中止となっていた。その復活第一戦が実現したのは、一〇月九日の月曜日、戸塚球場でのこと。雨のため二日間延長されたこの日は、絶好の野球日和となった。



▲慶大 宮武二郎 昭和三年

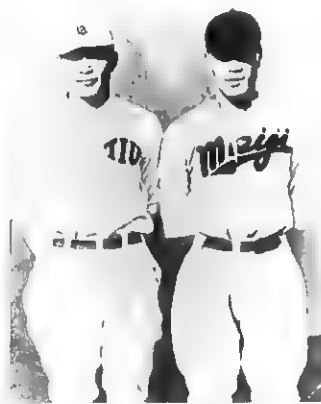


▲法大の投手 鈴木茂 昭和五年

が、大正三年。現在にいたる東京六大学野球の基盤である。六大学野球は、昭和一〇年に日本初の職業野球（プロ野球）チーム「大日本東京野球倶楽部」（後の東京ジャイアンツ）、「大阪タイガース」が誕生し、翌年から本格的試合が始まるまでは、日本で最強の真剣試合であった。昭和一二年当時でもプロに匹敵、いやそれ以上の実力を持っていた（吉澤氏）のである。戦後初の東京六大学リーグ戦が開戦したのは昭和一二年五月九日、上井草球場のことであった。そしてその後、六大学野球は、日本のプロ野球界を支える大スターを続々と生み出していった。早大の内野手だった元西武ライオンズ監督の広岡達朗、通算八本塁打の記録を達成した立教の長嶋茂雄（現・読売巨人軍監督）、ノーヒット・ノーランを達成した明大の星野仙一（現・中日ドラゴンズ監督）などの活躍ぶりは、野球ファンを熱狂させたのである。六大学野球リーグは、平成九年秋で通算一三七シーズンを終えた。その間、昭和五年春の、慶大、明大、立大同率のための優勝預かりをのぞくと、これまでの優勝回数は、法政が三七回、早稲田が三三回、そして明治、九回、慶応、八回、立教、一回である。

授（六〇・野球部長）がグラウンド中央の、塁ベース付近に進み出て早慶戦の復活を宣言し、観衆に節度ある観戦を望むことを呼びかけた。そして、時三十分、シーズン、〇九個という不滅の偉業：振記録を持ち、明大の投手としても活躍する湯浅植夫（一三）後に毎日監督）主審のプレーボールで、記念すべき復活第一戦が始まった。当時は早大の黄金時代であった。エースの竹内愛（一三）、藤本定義（一〇）後に巨人軍監督）らの投手陣が充実し、日本初のスイッチ・ヒッター山崎武彦（一四）、根本行都（一三）、井口新次郎（一三）、水室（後・井田）武夫（一三）後に近鉄監督）といった強打者がそろっていた。対する慶大は新人が多く、発展途上のチームで、身長一五八センチと小柄ながら、昭和九年に來日した、ベーブ・ルースに全米オールスターチームとの試合で好投するエースの浜崎真（一三）後に阪急監督）は持病の喘息が出てまったくの不調。試合は早大が一回に井口、水室らの集中打で、挙五点をもぎとり、勝利を決定づけた。慶大は竹内の微妙なコントロールに翻弄され、八回までノーヒット 九回、ようやく、谷八郎（一九）がショートに頭上を越す安打を放ち、辛くもノーヒット・

授（六〇・野球部長）がグラウンド中央の、塁ベース付近に進み出て早慶戦の復活を宣言し、観衆に節度ある観戦を望むことを呼びかけた。そして、時三十分、シーズン、〇九個という不滅の偉業：振記録を持ち、明大の投手としても活躍する湯浅植夫（一三）後に毎日監督）主審のプレーボールで、記念すべき復活第一戦が始まった。当時は早大の黄金時代であった。エースの竹内愛（一三）、藤本定義（一〇）後に巨人軍監督）らの投手陣が充実し、日本初のスイッチ・ヒッター山崎武彦（一四）、根本行都（一三）、井口新次郎（一三）、水室（後・井田）武夫（一三）後に近鉄監督）といった強打者がそろっていた。対する慶大は新人が多く、発展途上のチームで、身長一五八センチと小柄ながら、昭和九年に來日した、ベーブ・ルースに全米オールスターチームとの試合で好投するエースの浜崎真（一三）後に阪急監督）は持病の喘息が出てまったくの不調。試合は早大が一回に井口、水室らの集中打で、挙五点をもぎとり、勝利を決定づけた。慶大は竹内の微妙なコントロールに翻弄され、八回までノーヒット 九回、ようやく、谷八郎（一九）がショートに頭上を越す安打を放ち、辛くもノーヒット・



▲明大の内野手 湯浅植夫 昭和三年  
大のエース 中武雄 大正一四年



フォト+日録で再現する365日

▶アムンゼン、北極横断飛行(7月5日)5月に出発以来、4週間消息を絶ち安否を気づかわれていたが、6月、スピッツベルゲンに戻ってきた。この日、シルクハット姿でオスロに帰還。エンジン故障のため極点直前で断念。



「イリュストラシオン」

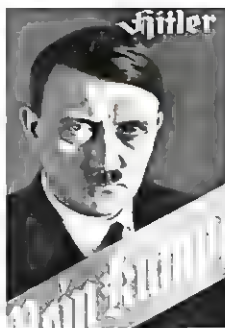
◀横有恒らアルバータ征服(7月21日)未踏のカナディアン・ロッキーの巨峰(3619メートル)に日本山岳会パーティーが挑戦。東山稜から初登頂。写真は、装備の点検をする横。



「イリュストラシオン」

▲米国で進化論論争(7月21日)デネシー州の高校でダーウィンの進化論を教えた教師が、州法違反で罰金100ドルの刑。「人間はサルの子孫」とする進化論は、聖書に反するとされた。

▼もてもてタイピスト嬢(7月18日)鉄道院が速記タイピストを養成するなど、大震災以降の洋風化・国際化の中で需要が増大。写真は東京・四谷模範女学院で開かれ、大にざわいの競技会。



▶ヒトラー「わが闘争」出版(7月18日)自伝色の濃い上巻を刊行。マルクス主義とユダヤ人を悪とし、アーリア人の世界制覇を当然とする思想で貫かれている。

▼東京・新橋、渡り初め(7月20日)明治32年来、初の改築。万国旗と紅白の幕がはためく祝賀式が開かれ、午砲を合図に拝待の子どもが除幕。群衆も市長ら来賓に続いた。



「読者」

▼伏石小作争議、公判始まる(7月17日)香川県高松で小作料滞納に対して差し押さえられた稲立木を、小作人が刈り取って保管し、地主に窃盗罪で起訴された。写真は弁護団。



「読者」



毎日新聞社

▲大胆になった女性の水着(8月)女学校の制服に、セーラー服が普及。洋風化・洋装化が一層進み、水着も袖のついたものからノースリーブになり、肌の露出度がぐっと増した。

◀「KKK」、ワシントン大行進(8月8日)白人による支配の復活・反黒人を唱える米国の秘密結社「クー・クラックス・クラン(KKK)」が第1回全国大会を開催、団員20万人が集結した。



毎日新聞社

◀▲「八坂丸」の金塊引揚げ(8月7日)日本深海工業所が、地中海のポートサイド沖で、木箱20箱、10万ポンド分全部を回収。第1次大戦中、ロンドンから東京に運ぶ途中、独潜艦艇に撃沈されたもの。



「読者」

▼淀川の西成大橋が崩壊(8月18日)豪雨による出水のため、全長約735メートルの橋梁がすたすた。翌年、阪神国道開通で架け替え、現在の淀川大橋となった。



「読者」



「読者」

▲東京市内一斉にハエ退治(8月15日)この日を「蠅捕りデー」とし、車を使って街頭宣伝、ビラまきをを行い周知徹底をはかった。ハエは腐敗物や糞などに集まり、この頃流行のコレラなど伝染病の媒体として恐れられていた。



毎日新聞社

大正14年7月

- 1 (水) 民間の太平洋問題調査会、ホルルで開催
- 2 (木) 京成電車延長反対の住民が東京市役所に陳情
- 3 (金) 荷馬車「一台の砂利泥棒」東京、駒込で逮捕
- 4 (土) 日本とラトビアが通商航海条約に調印
- 5 (日) 福岡県島田炭鉱で一万五〇〇〇人がスト
- 6 (月) 無産青年同盟準備会結成
- 7 (火) 北海道海防町で大火、「焼く」
- 8 (水) 日本工業倶楽部、国際商業会議所加盟を可決
- 9 (木) 貴族院、伯子男爵議員一五〇人選挙
- 10 (金) 芝浦製作所の工員一五〇〇人が解雇者ハ八人の復職を要求してストライキ
- 11 (土) 東京放送局、五五五五五
- 12 (日) 米オレゴン州で排日暴動が起る
- 13 (月) 仏軍、ルールからの撤兵開始 3日「完」
- 14 (火) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 15 (水) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 16 (木) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 17 (金) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 18 (土) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 19 (日) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 20 (月) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 21 (火) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 22 (水) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 23 (木) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 24 (金) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 25 (土) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 26 (日) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 27 (月) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 28 (火) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 29 (水) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 30 (木) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 31 (金) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」

大正14年8月

- 1 (土) 付属病院入院に教授が紹介料を取、九疑の九州帝大事件で福岡地裁検事が上京、報告
- 2 (日) 憲政会単独で第2次加藤高明内閣成立
- 3 (月) 米海兵隊、一九一年以来駐留していたカラガアから撤退
- 4 (火) 閣議、国税整理案大綱を決定
- 5 (水) 皇太子、樺太行啓のため横濱を出航
- 6 (木) 通信省、簡易保険局額五〇〇〇円に引き上げ
- 7 (金) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 8 (土) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 9 (日) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 10 (月) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 11 (火) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 12 (水) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 13 (木) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 14 (金) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 15 (土) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 16 (日) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 17 (月) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 18 (火) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 19 (水) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 20 (木) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 21 (金) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 22 (土) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 23 (日) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 24 (月) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 25 (火) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 26 (水) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 27 (木) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 28 (金) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 29 (土) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 30 (日) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」
- 31 (月) 仙臺、ルールの撤兵開始 3日「完」



▲帝国議事堂、ほぼ全焼(9月18日)貴族院政府委員室から出火、軒続きの衆議院も類焼、両院本館がほぼ燃え尽きた。折から壁の塗り替えなど補修工事中で、ペンキに作業中の火が引火したのが原因。

▲世紀の奇術師、フーディニ(9月14日)米ビッツバーグの劇場でショーを行い、枷で足の自由を奪われながら水槽から抜け出す「箱抜け」(写真)を実演、喝采を浴びた。しかし、10月末、腹膜炎で急死。

▲早大・高石勝男、200円で世界新(9月20日)東京・芝公園プールで行われた第4回全国学生水上競技大会で、2分17秒8を記録。25ヤードプールの換算では、米国のワイスミューラーが上回っていた。

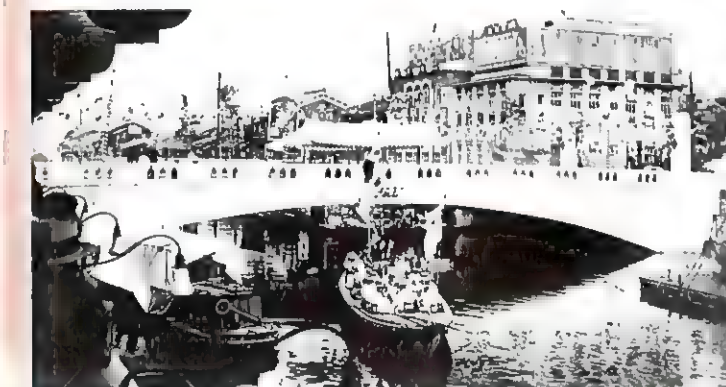
▲英第4皇子・ジョージが来日(9月15日)非公式訪問だったが、東京駅で高松宮の出迎えを受け、翌日、明治神宮に(写真)。宮中豊明殿の祝宴では、摂政宮と大正10年の旧交を温めた。18日、離日。



CORBIS-BETTMANN / PPS

▲日本陶器、IBM計算機を導入(9月)現・ノリタケが全企業に先駆けて、名古屋工場にパンチカード式のものを設置。注文伝票の処理や集計を行い、後には原価計算・生産管理にも応用。

▲戎橋、改築(9月5日)道頓堀川に架かる、大阪の商店街・心斎橋筋と戎橋筋を結ぶ橋。長さ約37メートル、幅約11メートル。大阪都市計画事業の一環として、鉄製から石造に強化された。



毎日新聞社



▲パリに「褐色のエロチシズム」(9月23日)シャンゼリゼ劇場の「黒人レビュー」に混血の踊り子、ジョセフィン・ペーカーが出演、フラミンゴの羽根だけの半裸でチャールストンを踊り、男性の官能をそそった。



▲上野駅前に婦人職業紹介所新設(10月8日)東京市が、東北地方からの求職女性の便宜をはかった。大正10年制定の職業紹介法に基づき、前年3月の水道橋支所が最初。



▲第2回国勢調査実施(10月1日)午前零時までの現在人口が対象。公園や土管の中にまで目を走らせた。写真は、東京市に繰り出す街頭宣伝隊とビラ。12月に概要発表、本土総人口は約5918万人となった。

▲対独制裁を解除(10月16日)英・独・仏・伊などのヨーロッパ首脳がスイスのロカルノに集合、国境の現状維持、相互不可侵とともに合意に達した。12月1日に正式調印され、翌年、ドイツは国際連盟に加盟した。

▲シリアで反仏暴動(10月14日)第1次大戦後、委任統治領となり仏軍が進駐、抵抗運動が続いていた。18日、仏軍の報復で首都・ダマスカスは惨たんたるありさまとなった。



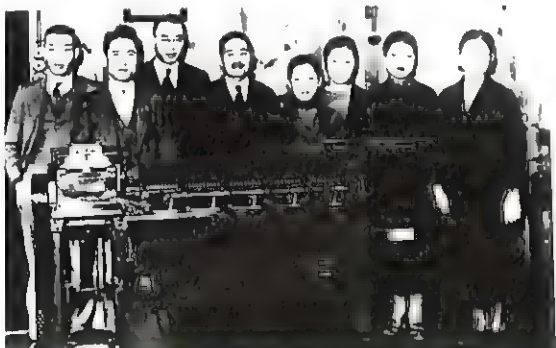
イノエストラフソン



▲日本初の航空大演習(9月22日)所沢、立川、下志津原の航空隊、約160機が東西に分かれ、28日まで代々木、江戸川上空などで空中戦。写真は代々木をたし国府台練兵場に終結した演習機。



- 大正14年 10月
- 1 (木) ライフチビ大学、身体訓練研究所を設置。
  - 2 (金) 外務省、上海の五・三〇事件全面解決を発表。
  - 3 (土) 日本、オーストリア、通商追加協定に調印。
  - 4 (日) 日本労働総同盟全国大会、開催。
  - 5 (月) ロカルノ安全保障会議閉会(16日)。英・仏・伊・独ら七ヶ国がロカルノ条約に仮調印。
  - 6 (火) 女子のための「親睦館」夜学校、第一回卒業式。
  - 7 (水) 綿織物の輸出は年内に五億円突破、と新聞に。
  - 8 (木) 東京府の環状線道路、放射線道路計画決定。
  - 9 (金) 伊勢湾の海陸連合演習で発動機船転覆、行方不明三十余人。
  - 10 (土) 仏交換使節のジルマルシエックスが帝国ホテル演説場でピアノ独奏会。
  - 11 (日) 帝展の洋画部入選発表、新入二人が入選。
  - 12 (月) モスクワで独ソ通商条約調印。
  - 13 (火) 大阪社会事業連盟創立。
  - 14 (水) シリアのダマスカスで反仏暴動。8日、仏軍が同市を砲撃するが、鎮圧に失敗し撤退。
  - 15 (木) 宇城(現・ソウル)、朝鮮神宮に日本軍小隊高橋の軍事教練の朝鮮人兵隊の演習、朝鮮人学生が抗議、演習中止。
  - 16 (金) テキサス州も教科書に進化論掲載を禁止。
  - 17 (土) 東京開催の極東熱帯医学大会、終了(12日)。
  - 18 (日) 佐賀県星山村で小作が地主襲撃、人権侵害。
  - 19 (月) 朝鮮半島の平和、重光葵が演説。
  - 20 (火) 朝鮮半島の平和、重光葵が演説。
  - 21 (水) キリヤ、フルガリアに侵入、両軍中、文戦バウル、クレ、ハリの展覧会に初出品。
  - 22 (木) 吉田茂、奉天駐在総領事に就任。
  - 23 (金) 大流行のクロスワードパズル、全員の選として送付実費を許取する事件が発表、新聞に。
  - 24 (土) 演劇自由同盟「上演中止で常例一万円損害」。
  - 25 (日) フランスがドイツに宣戦布告。
  - 26 (月) 東京で日本青年館、開館式。
  - 27 (火) 財政不調のため、ハルパー内閣、総辞職。
  - 28 (水) 横濱の天枝橋が完成、落成式。
  - 29 (木) 税制調査会、所得税増徴部会での改定案、小沢の演説に注目を集め、開会。
  - 30 (金) 日本が協定、安田満堂が演説。
  - 31 (土) 日本が協定、安田満堂が演説。



日本1日新聞

- 大正14年 9月
- 1 (火) 台湾銀行株主総会、損失整理案を決定。
  - 2 (水) オリンピックの創始者、ピエール・ド・クーベルタンがIOC会長を辞任。
  - 3 (木) 日仏芸術社主催、回フランス美術展を開催。
  - 4 (金) 平塚の肉類炭坑で爆発、死者一五人。
  - 5 (土) 海軍と大蔵省は製鋼計画変更による民間企業の損害、八〇万円補償を決定。
  - 6 (日) 小樽取引所、うすら豆暴落で立ち会い停止。
  - 7 (月) コシ、新法改正、品業と通商を禁止。
  - 8 (火) 叙勲、大正十一年、新設。
  - 9 (水) ベタン将軍指揮の仏・スペイン連合軍、リノ住民への大攻撃を開始。
  - 10 (木) 通信省、山田守設計の東京中央電報局完成。
  - 11 (金) 濃尾地方に大暴風雨、名古屋で浸水一戸。
  - 12 (土) 大蔵省、同一地区専業組合の共通商標許可。
  - 13 (日) 独の合同社会民主党がハイデルベルクで大会を開き、「ハイデルベルク綱領」を採択。
  - 14 (月) 奇術師フーディニ、米ビッツバーグでショー。
  - 15 (火) 書留用「三銭切手」、発行。
  - 16 (水) 米ファイアストーン・コム会社がリベリアに借款供与、四〇万の土地が担保。
  - 17 (木) 大蔵省、朝鮮銀行と台湾銀行への預金預貸金貸付利率を五・七から二分に引き下げ。
  - 18 (金) 修繕中の帝国議事堂、全焼。
  - 19 (土) シカゴ大の野球チーム来日、早大など対戦。
  - 20 (日) 第一回貴族院帝国議事堂議員選挙。
  - 21 (月) 政府、保有正貨四〇〇万円を米国に現送。
  - 22 (火) 共産主義の合法機関紙「無産者新聞」創刊。
  - 23 (水) 東京六大学野球リーグ戦、開始。
  - 24 (木) ソ連労働組合代表のレフセラ来日。
  - 25 (金) 東京商科大学、創立五十周年記念式。
  - 26 (土) 所沢、千葉などで陸軍最初の航空大演習。
  - 27 (日) 褐色の踊り子ジョセフィン・ペーカーの「トリ・パリ・大人気」。
  - 28 (月) 具言宗八派の連合宗制を解体、各派自立へ。
  - 29 (火) 三善堂より金沢庄一郎の「二公辞林」刊行。
  - 30 (水) 河原崎長十郎らの心座第一回公演、カイザー作「コアナ」ほかを演じた小劇場で上演。
  - 31 (木) ラジオ劇役者募集に声自慢が応募、と新聞に。
  - 32 (金) 原田淑人らが漢代の楽浪郡の古墳を発掘。
  - 33 (土) 英労働党、共産党員の入党と代議士選出禁止。
  - 34 (日) キリヤ、共和国憲法を公布。

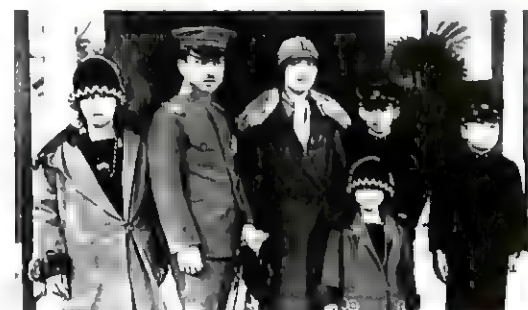




▲第1次大戦7周年(11月11日) 休戦した1918年11月11日午前11時を刻むロンドンのホワイト・ホール休戦記念碑の前で、2分間の黙禱がささげられ、会場は群衆で立錐の余地もないほどだった。



▲朝香宮鳩彦(38)、4年ぶり帰国(12月11日)パリに3年間留学、アール・デコに魅せられ、後に東京都庭園美術館となる洋館を昭和8年に建設。同妃(すぐ右)は明治天皇第8皇女・允子。



「写真通信」

▲山手線環状運転スタート(11月1日)神田一上野間の高架線が開通。秋葉原、御徒町2駅を新設。あわせて東海道本線と東北本線が直結し、東京の交通事情が大きく変わった。



「写真通信」



「写真通信」

▲皇族専用駅できる(11月)皇族が鉄道を利用する場合、東海道方面は東京駅、東北方面は上野駅を出発駅としていたが、警備の都合と一般客への影響から、山手線原宿駅に専用駅を新設。



「写真通信」

▶浅草仲見世、震災から復興(11月16日)新雷門を、浅草寺大僧正らが祝いの初ぐり(写真左下隅)。待機していた群衆が真新しい総朱塗り2階建て、回廊風の仲見世へなだれこんだ。



証言・あの日この日 西尾末広(34)

3月28日(土) (3月28日、大阪で中央委員会を開いた。関東同盟の望月源治君から、山本懸蔵、渡辺政之輔、杉浦啓一、辻井民之助、鍋山貞親、中村義明の六氏除名が提案された。その理由は「右の6名は日本共産党に属し、又はこれ

と通謀して常に党中党を作り、総同盟乗取りの陰謀をなした者である。これらの人々の運動方針は、実質の伴わぬ狂激なもので総同盟の組合精神に背反する」ということであった(西尾末広『大衆と共に』)

3月、普通選挙法案が可決されると、日本労働総同盟の左右対立はますます激しくなった。従来の普通選挙に対する考え方を否定し、議会活動重視の穏健な現実主義路線に方向転換しつつあった西尾末広らは、この日、左派の共産党系の除名を試みる。が除名には失敗。総同盟は一層激しい左右激突の場となった。(山崎行太郎)

▼第1皇女・照宮成子、誕生(12月6日)摂政宮良子妃が初産。午後8時30分、号砲が響き渡り、東京市民の万歳の声がこだました。家々の軒に祝賀提灯が下がり、国旗が掲揚された。写真は宮城前広場で。

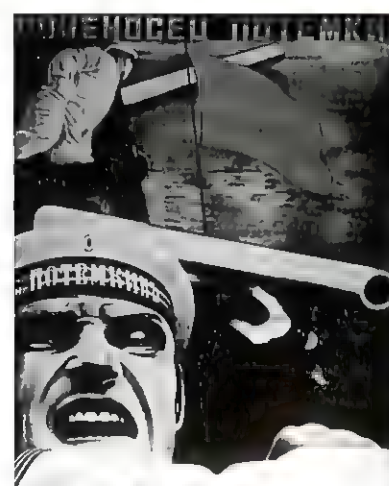


毎日新聞社

▲無産政党・農民労働党結成(12月1日)直前に右派・労働総同盟が脱退、大揺れの中で創立大会が開催された。しかしその日のうちに内務省から「国体と合致せず」と結社禁止が命令され、解散に。



▶「戦艦ポチョムキン」封切(12月24日)モスクワのポリショイ劇場で、エイゼンシュテイン監督の不朽の名作が封切。モニター手法による映像は、後の映画界に大きな影響を与えた。写真はポスター。



ユニファイト プレス

◀「ビス健」逮捕(12月12日)潜伏先の神戸の小料理屋を300人の警官が包囲、女装して就寝中のところを逮捕。偽名の健次郎に由来する「ビス健」こと大西性次郎は前月来、東京、神奈川、大阪、京都でピストル殺人強盗を働き逃走していた。写真右は、凶器と変装用具。



「警視庁」百年の歩み」



「写真通信」

大正14年11月

- 1日 ●東北本線神田一上野間の高架線が開通。秋葉原、御徒町2駅を新設。あわせて東海道本線と東北本線が直結し、東京の交通事情が大きく変わった。
- 2日 ●震災で焼失の米大使館再建のため設計家来日。
- 3日 ●東京府農産物市主催で府下の産物を網羅し即売する産業共進会を上野で開催。
- 4日 ●香川県高松市で小作争議。八人検挙。
- 5日 ●伊予県新居郡で社会主義政教解散命令。
- 6日 ●工業所有権保護に関するパリ同盟条約に調印。
- 7日 ●山田隆雄、井甲正三、原田正三を以て、高野正三、を以て、
- 8日 ●東京市の村上水也が完成。
- 9日 ●独逸ナチス党、親衛隊(SS)を創設。
- 10日 ●満洲特産協会、工業クラブで創立総会。
- 11日 ●東京帝大生ら七生社結成、新人会と対立。
- 12日 ●伊・米間に戦債協定成立。
- 13日 ●中国の奉天派、国民党軍に平和が成立。
- 14日 ●東京帝大に地震研究所、文部省に震災予防調査会を設け。
- 15日 ●パリでキリコ初演のシユレアリズム展。
- 16日 ●震災後改定の浅草仲見世が開通。
- 17日 ●全国商工業者大会、営業税全廃を決議。
- 18日 ●水川崎の富士紡績工場で八〇〇人がスト。
- 19日 ●北京開税会議、中国開税自主権承認をうけ、釐金(貨物運送に課した税)廃止を決議。
- 20日 ●独逸機隊の英雄、リヒトホルフェンの記念祭にヒンデンブルク大統領が参列。
- 21日 ●東京府連合教育会、中学入学試験全廃を決議。
- 22日 ●川本宇之介ら日本書口話普及会を結成(口話式で書字・書字の設置進む)。
- 23日 ●日本スケート連盟設立。
- 24日 ●皇族誕生にそなえ辰巳恒子(一人)の乳人発表有罪判決。
- 25日 ●英、扇動罪で逮捕された共産主義者二人に有罪判決。
- 26日 ●ドーズ米大統領にノベル平和賞決定。
- 27日 ●対米為替相場が四三・二に暴落。
- 28日 ●大審院、大学湯事件(屋敷の無償使用)に老舗の屋敷は保護すべきと損害賠償判決。
- 29日 ●「ジョーク」に終り(費ハ八〇〇万)の新マイン・スケッチ、ガーターが開演。
- 30日 ●総同盟、無産政党組織準備委員会から脱退。
- 31日 ●樺太石油利権に関する日ソ協定調印。

大正14年12月

- 1日 ●農民労働党(書記長 志田龍太郎)結成。内務省、治安維持法により即日結成禁止を命令。
- 2日 ●東京府、銀道対策に輸出解禁方針決定。
- 3日 ●白川義則関東軍司令官、張作霖、郭松林、兩軍に満鉄付属地付近での戦闘に警告。
- 4日 ●内務省、工業都市と二六府県の失業率(二万五〇〇〇人)を発表。
- 5日 ●住友兄弟銅山で五〇〇〇人のスト。
- 6日 ●各指保会社、満鉄沿線に動乱保険を開始。
- 7日 ●インにパレビ王朝、始まる。
- 8日 ●前月以来逃亡中のピストル強盗「ビス健」逮捕。
- 9日 ●東京、国府津間、大船、横須賀間の電化工事完了し、電気機関車運転開始。
- 10日 ●京都帝大生大会、学生自治を決議。
- 11日 ●東京で遊覧乗合自動車営業が始まる。
- 12日 ●国際連盟、モスル地方の油田地帯の大半をイラクに譲渡と裁定(トルコ、抗議)。
- 13日 ●トルコ、中立不可侵条約に調印。
- 14日 ●金、連共産党第一回大会、開演。スターリンの「一国社会主義理論」工業化政策を提振。
- 15日 ●内務省、官制職制令事業取締規則を公布。
- 16日 ●英、伊予アビシニアの利権に閉し書簡を交換。
- 17日 ●神奈川県鶴見町で工事の受まめくり松尾組と青山組の土木作業員ら、(二〇〇人)大乱闘。
- 18日 ●日ソ漁業条約改定会議をモスクワで開演。
- 19日 ●水、日共、モスクワ、戦艦ポチョムキン、封切。
- 20日 ●金、日本フエリン協会、解散。
- 21日 ●名古屋の劇場、新守座、焼失。
- 22日 ●最初の駐日ソ連商務参事官、ヤンソンが来日。
- 23日 ●中東、人知れず、ソ連、ヤンソンが来日。
- 24日 ●イント共産党創立大会、カインフルで開演。
- 25日 ●政友会分裂、陽、郎、同派は脱党。
- 26日 ●水、鶴見と、親分、親分の手打ち式で決着。
- 27日 ●伊予新聞の事前検閲制が成立。



# 儀楽多市

流行語

## 不況がもたらした自嘲

子どもたちに人気の新聞漫画「正ちゃんの冒険」にちなむ新年会のイベント。正ちゃんとリスがテーマ。



「お客大明神」。客にこびへつらうこと。不況が本格化するにつれ、商店主や営業マンは客の無理難題に、笑いながら我慢させられることが多くなった。そういう自分を「今日はお客大明神をやった」と自嘲気味に語ることが流行した「カルメン」。情熱的な女という意が転じたもので、不良少女のボスのこと。当時、東京では不良少女団が横行し、その数(〇、〇〇)と言われた。中でも丸ノ内の女事務員を中心とした「ハート団」や、浅草の「観音組」などは、六〇人以上のメンバーを抱えていた。そのボスがカルメンと呼ばれた。

「私小説」。作家の身辺や心境を描いた小説で、「私」「僕」など、人称で語られることからこう呼ばれる。私小説は田山花袋の「蒲団」(明治四〇年)以来、日本の文学の大きな流れとなっていたが、この年、久米正雄が「私小説と心境小説」という文章を発表して以来、広く使われるようになった。

「SS」。女学生用語で、人の女性と同時に同性愛をすること、またはしている女性。同性愛を「S」と言い、それがタプっているという意味。

## メイトル法は家族制度の敵?

日本がメイトル条約に加盟したのは明治一八年。大正一〇年には法律で採用が決まり、文部省が中心になって普及をはかることになった。ところが、大正一四年四月、小学校でメイトル法を教えることが決まった時に、肝心の文部省が腰抜けになってしまった。その理由がケツサクで、



「子どもたちに教えるのはいいが、おとなの知らないものを子どもが

CM100年

ツムラ喫茶部とラヂオの設備

JOAK

中將湯

津村順天堂

この年、東京・大阪・名古屋の3局でラジオ放送が始まり、それに便乗したCMが。

## 貸間ありは女文字で



▲初来日のアメリカ女子野球チームが10月19日、横浜に入港。選手13人、投手のカーシスは左投げ

帝大生に部屋を貸したいと希望する向きは多い。帝大生友会の共済部によると、貸間提供者は約五〇〇にのぼり、これは必要数の五、六倍と云う。理由は言うまでもなく、未だの学生生活に情をかけ、あわよくば養子に……という魂胆。提供者の申し込みの三分の二以上が、きれいな封筒にやさしい女文字で書かれており、中には肉体的関係を暗示するものも少なくない。そのいくつかを紹介すると、

「私方、主人は始終旅行中で、毎夜私一人です。六畳の離れを安く提供します」

これは孤獨の寂しさを訴えたものの妹が美人であることや、ピアノもあることを強調した文面もある。

「私と妹の二人暮らし。家広くして寂し下宿代などどうでもよし、妹は美人なり」

一方、今年三七の女主人にて、二と九の妹の三人暮らし。妹二人は、一定時間ピアノの稽古をすれば、お勉強の妨げなら止めさせるとくる女性もいるという

「読売新聞」六月一六日

退魔ムードを断てと京都で悪魔の葬式

（京都発）三月一四夜、京都の有志によって「悪魔の葬式」が行われた。世にはびこる退魔ムードを断とうというもので、先遣者は「悪魔を葬れ」と大書した白いのぼりを持ち、その後にサイコロと酒の升瓶を掲げたものが続く。さらに春画や猥褻写真に夫婦の写実、酒、タバコ、花札などを詰めこんだ棺をかついだグループが従う。行はバー街や祇園などで退魔退治の演説を試み、それらを今、この棺の中に捨てるように勧めた。行は繁華街をひとまわりした後、四条河原でこの棺を焼いたが、見物人の中からは「あの棺をそっくりほしい」という声も聞かれた。

（風俗研究）四月号

元凶はクロスワードアメリカの殺人事件

（ニューヨーク発）当地のブルックリンに住む男が妻を射殺した。その理由が面白く、男はクロスワード・パズルを解いていたが、どうしてもわからないので妻に助けを求めた。しかし妻が相手にならなかったため、かっとなつたのだという。ところがこの男、その後もパズルに熱中、やはり解くことができないというので、自分で自分の頭をぶち抜いて死のうとしたが、弾丸がはずれて苦しんでいるところを発見された。

（東京朝日新聞）三月二二日

## はやり歌



▲「金の星」大正一四年一月号に詩が発表され、同年四月発行の「金の星集(9)」で曲がつけられ、以後よく歌われるようになった。

証城寺の狸囃子  
証城寺の庭は  
ツツ 月夜だ  
皆出て来い来い  
ぼんぼ ぼんのぼん

負けるな 負けるな  
和蘭さんに 負けるな  
来い 来い 来い 来い 来い  
皆出て 来い 来い 来い

証城寺の狸囃子  
証城寺の庭は  
ツツ 月夜に花盛り  
ぼんぼ ぼんのぼん

出船の港  
ドンとドンとノ、波のり越して  
一挺、一挺、八挺機で飛ばしや  
サツとあがつた 鯨の潮の  
潮のあちらで  
朝日はおどる  
エッサエッサノ、押し切る腕は

中山雲平氏謡曲

港の船

見事黒がね その黒がねを  
波はためて、ドンと突き出る  
ドンとドンとノ、ドンと突き出る

風に帆綱を きりりと締め  
帆を回せば 帆先はおどる  
おどる 帆先に 身を投げかけりや  
夢は出船の 港へ戻る



この年の初もの

国産マネキン人形  
京都で製作

●グライダー(複製式) 群馬県高崎市の馬場源八郎が製作し、試験飛行に成功

●ネオン 八月、白木屋大阪店に設置。カ月後、火災の危険があるとして撤去されたので、東京・日本橋の本店に設置

●ラジオドラマ 七月、東京放送局(現・NHK)が、人樹の娘を放送

●デパート屋上の動物園 東京・銀座の松坂屋にオープン



知っているのでは親戚の威厳にかかわり、ひいては国体の根本である家族制度の崩壊につながる」というのである。その結果、メイトル法が採用されるのはそれから三四年も後のことになった

（週刊読売 昭和一三年三月一日号）

レジャー

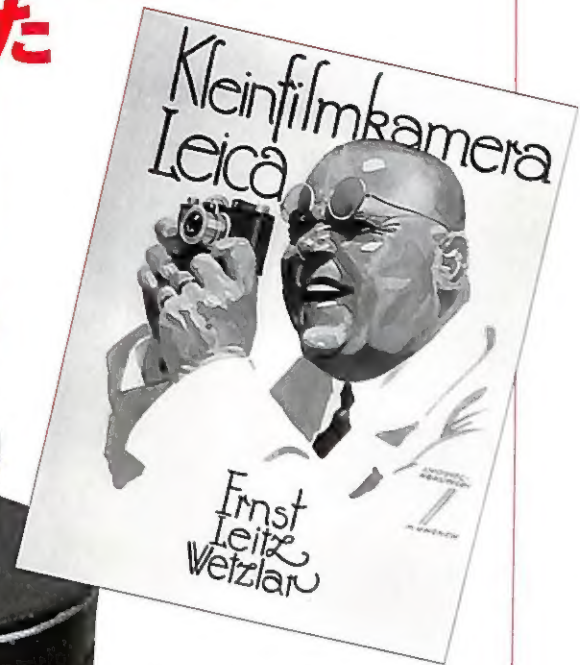
やって来たフランス人形ブーム

フランス人形の始まりは大正一四年頃、フランス婦人の人形研究家・上村露子が、西洋帽子の製法と日本のおかめの面とから思いついて、フランス調の布製マスクを使って西洋風な人形に仕立てたもの。これを「フランス人形」と名づけて、東京・銀座の伊東屋から売り出したのが始まりとされている。この新しいハイカラな名称が若い女性たちに喜ばれ、ことに女学生の間では人形作りが盛んになり、「大東京女学生制作お人形展」(日本橋・三越)なども開かれた(斎藤良輔 昭和玩具文化史)



# カメラの革命! 大型全盛期に携帯機が登場 日本人ファン第1号は石原莞爾だった

## 「ライカ」誕生! その「神話」と愛好者たち



▲初期のライカの広告の中でも、最も有名なポスター。  
Leica Camera AG デジタルハウス

◀1925年、最初に発売された「ライカ I (A) 型」。1936年までの11年間に、5万9014台が生産された。

「カメラには二種類ある。すなわちライカとライカ以外のカメラだ」というフレーズを産み、今や工芸品となったかの感があるライカ。と同時に近代カメラの始祖でもあるライカを、初めて日本に持ちこんだのは、ナポレオン一世とフリードリヒ大王の研究のためドイツに留学していた陸軍軍人・石原莞爾であった。

### ライカの産みの親は 小柄なカメラマニア

一九二五年四月、ドイツのライプツヒ見本市に出品された「ライカ I (A) 型」は、吟味された高品質の原材料を使って、むだのない姿形、ほどよい大きさと重さ、バランスのよさ、シンブルな機構など、新しい意匠が凝らされ、見るものの目を奪った。当時がガラス乾板使用の大型蛇腹カメラ全盛期ということを見ると、「革命的」と言えるほどの逸品だったが、ライカに対する評価はかならずしも高かったわけではない。今ではごく普通の三五フィルムを使用する小型カメラの市場がまったく未知だったため、販売店が半信半疑だったのだ。

後に「満州事変」の主謀者となる石原莞爾大尉(三六)がベルリンの行きつけの写真店、フォト・ザグゼでライカを買ったのは、二年間のドイツ留学を終え、帰国間近になったこの年の八月である。「お求めになるのは見合された方がいいですよ。このカメラは距離計を完るために作られたもので、大したものではないかもしれませんが」と店員から忠告されたという。それでも石原が購入したのは、軍人としてではなく、私人としての興味からだ。石原は、ナポレオン一世などを描いた絵画のコレクターとして有名だったが、入手後はどこに行くにもライカをたずさえたほどの写真好きでもあった。第一次世界大戦の敗戦によるドイツマルクの下落は、軍人の給与で高価なライカの購入を可能としたのだ。

石原をはじめ、その後数多くの熱烈な信奉者を獲得するライカ誕生までの経緯、すると撮影所で使う「千巻き」という長尺フィルムに限られ、一人で使い切れる量ではなかった。ところが映画人は、映画フィルムの切れ端を利用できたのである。むろんフィルム入手難ばかりがライカの普及をさまたげたわけではない。昭和四年、銀座にあった金城商会はシヨウウィンドーにライカを飾った。最新のレンズ交換式「I (C) 型」、標準レンズのエルマー五〇、F三・五、距離計、マガジン三個、格納ケース一式で、九五円。個人の授業料が年間一四〇円という時代である。ライカは高価格商品だったため、実需に結びつくことはなかった。その後、渡辺義雄、木村伊兵衛、桑原甲子雄などの写真家がライカならではという作品を発表したが、ライカが注目さ

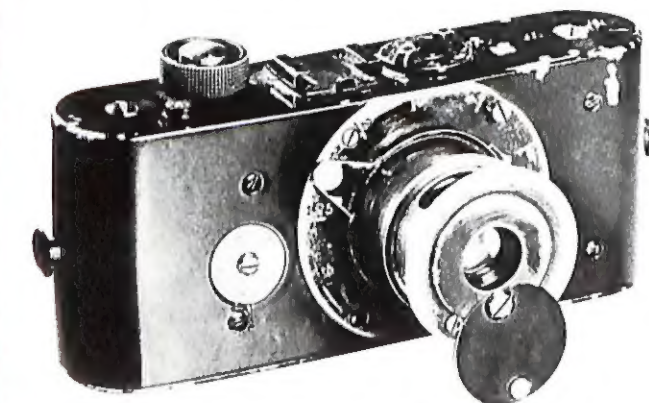


日本カメラ博物館提供

### 「二六事件」の際も 小型の真価を発揮!

一九二九年(昭和四)八月九日、ドイツの飛行船「ツェッペリン伯爵」が、世界一周の途中で、霞ヶ浦飛行場に着陸した。

船長であり飛行船の発明者であるフーゴ・エッケナーの胸に「ライカ I 型」が吊るされているのが新聞などで報道され、ドイツの最新カメラは、日本で初めて脚光をあびた。もちろん、これがライカの日本初登場ではない。昭和元年にはライツ社日本代理店のシュミット商店に「ライカ I 型」は入荷していたし、石原莞爾をはじめ、映画監督の五所平之助、小津安二郎、衣笠貞之助などが、すでにライカの愛用者であった。ライカが



▲ライツ社に保存されている、ライカの原型「ウル・ライカ」。



▲ライカの開発者。オスカー・バルナック(1879-1936)。ライツ社研究室にて。

緯について語るのは、日本カメラ博物館副館長の酒井修一氏である。

「ライカの産みの親は、一九一一年にエルンスト・ライツ社に入社したオスカー・バルナック(当時・三三歳)です。無類の写真好きだった彼は何としても、自分が操作しやすいカメラがほしい。バルナックは小柄で身体が弱かったため、当時の大型で重いカメラは負担が大きすぎる。自分の手におさまる操作しやすい理想のカメラを作りあげていった結果が、従来のカメラの常識を破る形態となったのです」

バルナックは、一九一三年、後に「ウル・ライカ」と名づけられたライカの原型を二台作るが、経営者のライツ一世の無関心と、第一次大戦勃発で、製品化は頓挫する。ライカが目の目を見るのは一九二三年、ライツ二世の代になってからである。この年、「ウル・ライカ」に改良を加えた量産試作カメラ「ヌル・ライカ(0型)」が三〇台製造された。

ここからシリアルナンバーと言われる一連のボディ番号がつけられるようになり、以降、連綿として通し番号が打たれる。シリアルナンバーは、親・子・孫三代にわたって使用に耐える製品としてのライカの矜持の表れでもある。

この「0型」が製品化されて「ライカ I 型」が誕生する。まだ三五フィルムカメラの市場が未成熟な中で、ライツ社は一九二五年末までに八五七台を製造した。



# モラエスが亡き妻の故郷・徳島で 想い続けた「日本人」と鎮魂

——佐伯修



▲日本通信を次々とポルトガルで発表した。

ポルトガルの軍人で文学者のヴェンセスラウ・デ・モラエス（一八五四～一九二九）が、神戸・大阪駐在ポルトガル総領事の地位も、同国海軍中佐の軍籍もあつたりと捨て、四国の徳島に住みついたのは大正二年七月、モラエス五九歳のことだった。

それから一二年、この年、彼は最後の著書『日本精神』を伊賀町の自宅で書き上げる。同書は翌大正一五年、ポルトガルで出版された。同書より。

「日本人の場合も、西洋人が考える範囲で、遠い昔の先祖のまつり、家族のまつりが各個人のすべての感情神経に、何よりも支配的に注射されていて、血管内の血をたぎらせている。亡き人々を祀って、親族や友人や現に死を考えている自分自身を、死から救いだそうとしているこの感情で、すべての者と自分自身に、あの世とこの世での光榮ある永生を信じて、明日死ぬために、今日生きているのだ！」（花野富蔵訳）

『日本精神』全体としては、モラエスは、

日本人の「個人の無人称性（没個性）」という心理的特性についてさまざまに論じており、先祖供養の風習も、その一例として取り上げられている。しかし、モラエスは、徳島へ来た当初から、死者への鎮魂というテーマに、こだわり続けてきた。大正五年に刊行された、徳島で書いた最初の著書『徳島の盆踊り』に、こんな記述がある。

「もうおそい、私は『ほん・おどり』に背を向けて、心が沈み悲しくなつて家に帰ります。……彼ら、これらの日本人はみな、自分たちの死者たちと霊的に接触してまだ間がなく、心たのしく幸せにあふれ、くつろぎ、踊っています。明日は、氣持をとりなおしていつもの暮らしに戻るでしょう。私はちがいます。私は私の死者たちと接触しませんでしたし、誰も彼らについて何も意識的に参加することはできませんでした。……（改行）それでも、我が友よ、私は、ここで彼ら、私の死者たちと親しい関係になれるのではないかとという期待を、口には出さないまでも心に深く秘めて徳島に來たのです」（岡村多希子訳）

徳島は、モラエスにとって死別した妻・ヨネの故郷であり、ここで彼はヨネの姉・斎藤コハルとの間に子をもうけるが、コハルも子も、相次いで世を去った。以後、モラエスは、ほかの外国人とも交際せず、子どもや動植物を友に、隠者のような生活を送る。そして昭和四年夏、誰にも知られずに自宅で死んでいるのが発見されたのだった。

れ、その真価を發揮したのは、昭和二年二月二六日のことである。大雪の早曉の出来事であった。皇道派の青年将校が下士官・兵一四〇〇人を率い、政府要人を襲撃した。反乱部隊の取材に、当時の新聞社のカメラは大柄で目立ちすぎ、フィルム・カメラは没収、下手をすれば発砲される危険性があつた。この事態に適応したのが小型カメラである。各社はライカの入手に狂奔した。その結果、反乱軍が本拠地としていた赤坂の料亭「幸楽」の状況などが迫力ある写真となって紙面を飾つた。

「二・二六事件」の翌昭和二年「盧溝橋事件」が起こる。この時活躍したのもライカであつた。従軍写真部員が連日の行軍をしのぐためには、軽量カメラが最適だった。ベトナム戦争で知られる報道カメラマンの沢田教一も、常に数台の「M型」ライカを首や肩から下げていた。有事にこれだけ活用されたということは、軽量、堅牢という利便性だけでなく、光学機器としても世界最優秀の折り紙つきだったからである。「ライカM3」を頂点として「黄金の五〇年代」を謳歌した西ドイツのカメラ業界だったが、一九六〇年代に入ると、急速に力をつけ低コストで切りこんでくる日本のカメラに抗しきれなくなつていった。

「ライカには技術的に追いつけなかつた日本のカメラ・メーカーだが、エレクトロニクスの分野でト



▲「安全への逃避が一九六八年ピュリッツァー賞を受賞」



▲アンリ・カルティエ・ブレッソン。フランスの写真家。ライカを愛用し、写真集『決定的瞬間』（1952年）で名声を確立。



▲ライカ「M3型」を構える木村伊兵衛。昭和5年以來、ライカにより数々の名作を発表、「ライカの木村」と称された。

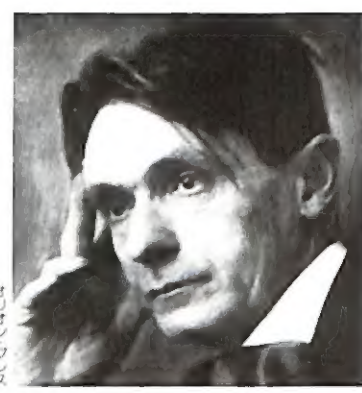
現在のライカは「M6型」の時代だが、価格はボディのみで約三〇万円、中古価格は一六万円くらいからという。

アップの座を獲得しました。一方、ライカは、市場こそ奪われたが、工芸品としてユーザに愛される別格のカメラとして生き残ることになったのです」（前出、酒井氏）

## 往きて 還らぬ



▲3月26日 米原雲海(55)  
彫刻家。明治23年高村光雲の弟子となり、光雲の右腕と言われた。40年日本彫刻会結成。代表作「仙舟」「竹取翁」。



▲3月30日 R・シュタイナー(64)  
独の思想家。1913年精神科学を教授する自由大学、1919年子どもに自由教育を行うハルドルフ学校を創設。



▲1月8日 植村正久(66)  
明治から大正期のキリスト教思想家。明治6年受洗。『旧約聖書』の翻訳、讃美歌の訳詞などキリスト教普及に貢献。

▼2月15日 木下利玄(39)  
明治43年志賀直哉（右端）らと「白樺」創刊。歌集『銀』『紅玉』など、白樺派唯一の歌人として活躍。右から二人目。



▲4月20日 久野久子(41)  
ピアニストで、元東京音楽学校・日本女子大教授。ダイナミックな演奏で話題を呼んだが、ウィーンで自殺。



▲3月12日 孫文(58)  
中国の革命家で、辛亥革命の指導者。明治28年の亡命以來たびたび来日、有力政治家 右翼と深い関係を持った。



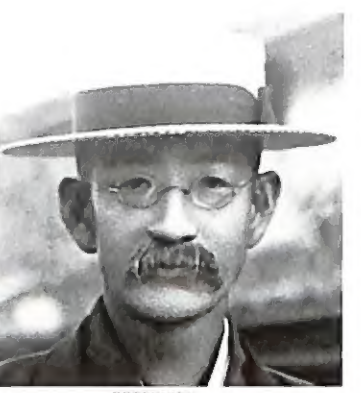
▲10月15日 古田大次郎(25)  
社会運動家。大正13年福田雅太郎大将襲撃事件などで死刑判決、翌年刑死。著書『死の懺悔』はベストセラーに。



▲12月4日 曾我遼家十郎(56)  
喜劇俳優。明治36年五郎と曾我遼家兄弟劇を創始。日露開戦をあてこんだ喜劇『無難の号外』が大当たりとなる。



▲5月7日 B・サヴィンコフ(46)  
ロシアの革命家。十月革命後は反ソ活動を行い逮捕、獄中で自殺。ローブシンの筆名で『蒼ざめた馬』などを執筆。



▲6月10日 大町桂月(56)  
明治期の詩人、随筆家。帝大在学中「帝国文学」に美文、新体詩を発表、赤門派と呼ばれる。酒豪としても有名。



▲6月16日 矢島檀子(92)  
教育者、婦人運動家。明治22年女子学院院長。明治10年、東京婦人矯風会創設、一夫一婦制、廃娼などを訴えた。



▲12月20日 E・S・モース(87)  
米国の動物学者。明治10年東大教授に就任。大森貝塚を発見。陶器や民具を集めたモース・コレクションも有名。



▲9月25日 浜尾新(76)  
教育行政家。枢密院議長。明治26年帝大総長、30年文部大臣。大正期には皇太子（昭和天皇）の教育も行った。



1926 昭和元年

# 日録20世紀

大正天皇崩御と元号誤報

「読者アンケート」のハイカラ生活  
「読者アンケート」のハイカラ生活  
「読者アンケート」のハイカラ生活

週刊

# 日録20世紀

623 560 560

第66号 6月9日(火)発売 定価560円  
毎週火曜日発売 講談社 本体533円

## 1926[昭和元年]

日録20世紀専用バインダー

高級感あふれる特製バインダーを用意しました。「日録20世紀」を1冊ずつ年代順にバインダーに収納すれば、「20世紀」ビジュアル百科の完成です。10年ごとに分類するためのシールも添付しました。取りはがしは簡単で、整理にも便利、じょうぶな仕上がりです。あなたの書斎を飾るホーム・ライブラリーとして、永く保存してお楽しみください。バインダーは1部1300円(税別)。全国の書店でお求めください。

●特集  
大正天皇崩御と「元号誤報」騒動 幻の「光文」スクープ事件! 広い中庭に共同浴場や社交場つき! 「同楽会アパート」のハイカラ生活! 軍隊内の部落差別に糾弾闘争! 「福岡連隊爆発未遂事件」の謎に迫る! 「20世紀」の女性永遠の恋人ルドルフ・ウラレンツォ・シュテッセル・ニコル・フイル  
フォト十日後で再現する365日! 共同印刷争議(1月16日) 松島遊覧船(2月28日) 陸軍機衝突事件(3月4日) バード・アムンゼン、相次ぎ北極上空を飛行(5月) 十勝岳が火(6月24日) 人見絹枝、走り幅跳び世界新(8月26日) 米紙、レニンの遺書を掲載(10月16日)  
●人物クロスアッ  
最後の元老 西園寺公望の「境界」  
ゴダールのロケット実験成功!  
●美の出会い  
榎方を開眼させた川上澄生「初夏の風」  
●女たちの肖像: 朴烈事件「金子文子」の「金」  
●自決 勝者敗者 高杉勝男、獅子奮迅!  
●証言 あの日この日 若槻礼次郎、広津和郎「現場を歩く」多町「鬼熊事件」の「実録」 20世紀博物館「世界の銀器館」(東京) 外か見たNIPPON: 作家、ハクスレーが出た「まがいのもの」  
●ベストセラー: 「佐藤春夫詩集」/ スターと名場面: 阪東妻三郎の巻、チャップリン「黄金狂時代」/ モノ語り「26」/ キンカン「スモカ面」



■既刊好評発売中(既刊65冊! 1930・1940・1950・1960・1970・1980年代がそろいました)

1930年代 第43号1931[昭和6年]	第44号1932[昭和7年]	第45号1933[昭和8年]	第46号1934[昭和9年]	第47号1935[昭和10年]	第48号1936[昭和11年]	第49号1937[昭和12年]	第50号1938[昭和13年]	第51号1939[昭和14年]	第52号1940[昭和15年]
第53号1941[昭和16年]	第54号1942[昭和17年]	第55号1943[昭和18年]	第56号1944[昭和19年]	第57号1945[昭和20年]	第58号1946[昭和21年]	第59号1947[昭和22年]	第60号1948[昭和23年]	第61号1949[昭和24年]	第62号1950[昭和25年]
第63号1951[昭和26年]	第64号1952[昭和27年]	第65号1953[昭和28年]	第66号1954[昭和29年]	第67号1955[昭和30年]	第68号1956[昭和31年]	第69号1957[昭和32年]	第70号1958[昭和33年]	第71号1959[昭和34年]	第72号1960[昭和35年]
第73号1961[昭和36年]	第74号1962[昭和37年]	第75号1963[昭和38年]	第76号1964[昭和39年]	第77号1965[昭和40年]	第78号1966[昭和41年]	第79号1967[昭和42年]	第80号1968[昭和43年]	第81号1969[昭和44年]	第82号1970[昭和45年]
第83号1971[昭和46年]	第84号1972[昭和47年]	第85号1973[昭和48年]	第86号1974[昭和49年]	第87号1975[昭和50年]	第88号1976[昭和51年]	第89号1977[昭和52年]	第90号1978[昭和53年]	第91号1979[昭和54年]	第92号1980[昭和55年]

最新刊  
第93号1981[昭和56年]

バックナンバーは お近くの書店でお求めください。創刊号のみ282円(税別)です。直接弊社にご注文の場合は、冊数に問わず送料200円のご負担となります。なお、代金と送料は先にお送りください。申込先 講談社サービス係 電話03-5395-3676



▲大正天皇崩御と「元号誤報」騒動。写真は正門入り口の雑踏。



▲7月17日、貨車に取り付けられる自動連結器。鉄道史上、画期的な出来事。

**大正天皇崩御と「元号誤報」騒動**  
東京・千駄ヶ谷の邸宅街・穂田の一角に住み「神のお告げ」で政財界に信用を得ていた飯野吉三郎の刑事事件。前年暮れに借金返済を迫った商人を執事が暴行、検察は三月一日、飯野を傷害致傷で起訴したが、糖尿病加療中のため取り調べができないまま昭和元年、死亡した。飯野は「生き神様」とまでたたえられた一方、「あしたに神に仕え、夕べに女を口説く」と言われるほど、悪評も絶えなかった。

**自動連結器**  
結核予防法に用いるための生ワクチン。仏バスターール研究所のカルメットとケランが、ウシ型結核菌を、三年間「三〇代」も培養して生み出した。「三〇代」は前年七月からこの六月三日までの一年間、この頃には「四二二」パーセントが結核で死ぬとされていた乳幼児。〇〇〇人にB.C.G.を接種、一人の結核患者も出さないことに成功した。B.C.G.は細菌の意の仏語と発見者、人の頭文字。

**宇宙軍艦**  
加藤高明護憲三派内閣の陸相となつた宇垣一成が、五月一日から開始した陸軍軍艦。ワシントン会議、仮想敵国・ロシア帝国の崩壊、シベリア出兵失敗で起こった世論の軍艦要求などにより大正二年から始まった。陸軍軍艦の第三次目にあたる。前二回に比べ、人員整理・装備近代化が鮮明になった。また、常備兵力削減、学校教練実施や青年訓練所設置などによる戦時動員兵力の増加で補うという画期的なものだった。

**BCG(ブーシー)**  
結核予防法に用いるための生ワクチン。仏バスターール研究所のカルメットとケランが、ウシ型結核菌を、三年間「三〇代」も培養して生み出した。「三〇代」は前年七月からこの六月三日までの一年間、この頃には「四二二」パーセントが結核で死ぬとされていた乳幼児。〇〇〇人にB.C.G.を接種、一人の結核患者も出さないことに成功した。B.C.G.は細菌の意の仏語と発見者、人の頭文字。

**小樽高商事件**  
小樽高等商業学校(現・小樽商大)に配属された軍事教官が、一月五日、「大地震発生時に無政府主義者が朝鮮人を煽動し暴動勃発」と、関東大震災時に横行したデマと同様の想定のもとに軍事教練を行ったため、朝鮮人港労働者、評議会の系、労働員らが教官に謝罪を求めた事件。宇垣軍艦と並行して行われた学校教練実施が背景にあったため、教練反対運動の火が燃え上がった。

**大衆文芸**  
純文学と線を画す、娯楽を本位とする通俗文学、大衆文学、時代小説、探偵小説など。一月一日、代表作家「宮上に立つ影」で著名な時代小説作家・白井喬二が中心になって、大衆作家の集まり「日、月会」を結成、翌年には機関誌「大衆文芸」を発売。「大衆」の語は「わかに普及した。白井によれば、それは「従来日本にはない仏語で民衆より広い意味を持たせたくて使った」という。

**原理想日本社**  
神がかり的な日本主義者で慶大予科教授の荻田陽吉らが、「国体明徴」一教を刷新などを掲げ、一月七日に設立した右翼団体。機関誌「原理想日本」を刊行。東京帝大、京都帝大などのリベラル派教授に対し言論、告訴攻撃を繰り返した。後の「滝川事件」や天皇機関説排撃にいたる道筋を作った。荻田の攻撃は、河上肇「資本主義の誤謬を指摘して批判したように、一見、学術的だったため帝大生にも支持者をふやした。

**地震研究所**  
地震に関する諸現象の科学的研究と地震に起因する災害の予防・軽減方策を追求する、東京帝大の付属研究所。一月十四日、勅令により設置。物理学的、地球物理学の立場に立つた研究がめざされ、震災予防についての重要事項の審議などは、文部省に新設された震災予防評議会が行った。昭和四〇年からは、地震予知にも積極的姿勢を見せている。

**一国社会主義理論**  
スターリン・ソ連共産党書記長が、二月の第四回党大会で唱えた主張。第一次世界大戦後のヨーロッパの革命運動の沈滞化を背景に、国内建設重視を打ち出し、ジノビエフと対立した。ロシア革命初期の普遍主義的展望の後退は、コミンテルンによる各国共産党の指導に大きな影響を与え、後のソ連離れ、共産主義勢力分裂の原因を作った。

# 三二事典

## 1925年のキーワード

となり、東京市の約二〇万人を抜いて日本一の都市となった。昭和七年、東京市が隣接五郡八二カ町村を編入し、大阪市の倍を超える人口となるまで人口一位の座を保った。また、大阪港を通じてのさかんな交易で、繊維産業などの中心地として栄え、全国一の工業生産額を誇った。

**宇垣軍艦**  
加藤高明護憲三派内閣の陸相となつた宇垣一成が、五月一日から開始した陸軍軍艦。ワシントン会議、仮想敵国・ロシア帝国の崩壊、シベリア出兵失敗で起こった世論の軍艦要求などにより大正二年から始まった。陸軍軍艦の第三次目にあたる。前二回に比べ、人員整理・装備近代化が鮮明になった。また、常備兵力削減、学校教練実施や青年訓練所設置などによる戦時動員兵力の増加で補うという画期的なものだった。

**BCG(ブーシー)**  
結核予防法に用いるための生ワクチン。仏バスターール研究所のカルメットとケランが、ウシ型結核菌を、三年間「三〇代」も培養して生み出した。「三〇代」は前年七月からこの六月三日までの一年間、この頃には「四二二」パーセントが結核で死ぬとされていた乳幼児。〇〇〇人にB.C.G.を接種、一人の結核患者も出さないことに成功した。B.C.G.は細菌の意の仏語と発見者、人の頭文字。

**小樽高商事件**  
小樽高等商業学校(現・小樽商大)に配属された軍事教官が、一月五日、「大地震発生時に無政府主義者が朝鮮人を煽動し暴動勃発」と、関東大震災時に横行したデマと同様の想定のもとに軍事教練を行ったため、朝鮮人港労働者、評議会の系、労働員らが教官に謝罪を求めた事件。宇垣軍艦と並行して行われた学校教練実施が背景にあったため、教練反対運動の火が燃え上がった。

**大衆文芸**  
純文学と線を画す、娯楽を本位とする通俗文学、大衆文学、時代小説、探偵小説など。一月一日、代表作家「宮上に立つ影」で著名な時代小説作家・白井喬二が中心になって、大衆作家の集まり「日、月会」を結成、翌年には機関誌「大衆文芸」を発売。「大衆」の語は「わかに普及した。白井によれば、それは「従来日本にはない仏語で民衆より広い意味を持たせたくて使った」という。

**原理想日本社**  
神がかり的な日本主義者で慶大予科教授の荻田陽吉らが、「国体明徴」一教を刷新などを掲げ、一月七日に設立した右翼団体。機関誌「原理想日本」を刊行。東京帝大、京都帝大などのリベラル派教授に対し言論、告訴攻撃を繰り返した。後の「滝川事件」や天皇機関説排撃にいたる道筋を作った。荻田の攻撃は、河上肇「資本主義の誤謬を指摘して批判したように、一見、学術的だったため帝大生にも支持者をふやした。

**地震研究所**  
地震に関する諸現象の科学的研究と地震に起因する災害の予防・軽減方策を追求する、東京帝大の付属研究所。一月十四日、勅令により設置。物理学的、地球物理学の立場に立つた研究がめざされ、震災予防についての重要事項の審議などは、文部省に新設された震災予防評議会が行った。昭和四〇年からは、地震予知にも積極的姿勢を見せている。

**一国社会主義理論**  
スターリン・ソ連共産党書記長が、二月の第四回党大会で唱えた主張。第一次世界大戦後のヨーロッパの革命運動の沈滞化を背景に、国内建設重視を打ち出し、ジノビエフと対立した。ロシア革命初期の普遍主義的展望の後退は、コミンテルンによる各国共産党の指導に大きな影響を与え、後のソ連離れ、共産主義勢力分裂の原因を作った。

**フォト十日後で再現する365日**

女たちの肖像  
女性アナ第号 翠川秋子の七カ月 稲葉真弓

勝者敗者  
大横綱 栃木山、突如の引退! 阿部珠樹

証言 あの日この日 山崎行太郎

現場を歩く  
東大講堂の改修と「安田」 山本徹美

20世紀博物館  
所沢航空発祥記念館 増子 桑原茂夫

外から見たNIPPON  
モリスが想い続けた日本人と鎮魂 佐伯修

モノ語り25  
食の欧風化と星印北海道バター「キユーピーマヨネーズ」

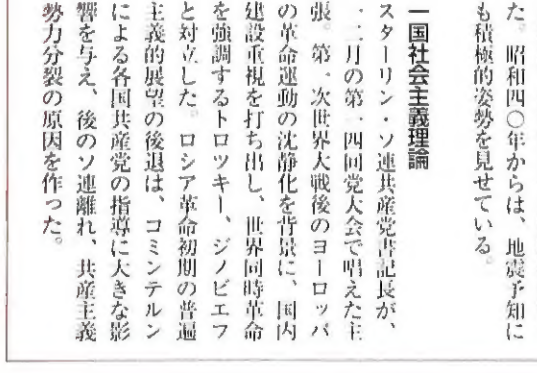
人物クロスアッ  
牧野三三、独立プロ創立!

決定的瞬間  
大戦の英雄たちと曲芸飛行の時代

美の出会い  
佐伯祐三、サロンド・ドントンヌ入選

ベストセラー  
俄多摩多

往きて還らぬ  
41 31 21 11



**意味を持たせたくて使ったという**  
「大衆」の語は「わかに普及した。白井によれば、それは「従来日本にはない仏語で民衆より広い意味を持たせたくて使った」という。

**原理想日本社**  
神がかり的な日本主義者で慶大予科教授の荻田陽吉らが、「国体明徴」一教を刷新などを掲げ、一月七日に設立した右翼団体。機関誌「原理想日本」を刊行。東京帝大、京都帝大などのリベラル派教授に対し言論、告訴攻撃を繰り返した。後の「滝川事件」や天皇機関説排撃にいたる道筋を作った。荻田の攻撃は、河上肇「資本主義の誤謬を指摘して批判したように、一見、学術的だったため帝大生にも支持者をふやした。

**地震研究所**  
地震に関する諸現象の科学的研究と地震に起因する災害の予防・軽減方策を追求する、東京帝大の付属研究所。一月十四日、勅令により設置。物理学的、地球物理学の立場に立つた研究がめざされ、震災予防についての重要事項の審議などは、文部省に新設された震災予防評議会が行った。昭和四〇年からは、地震予知にも積極的姿勢を見せている。

**一国社会主義理論**  
スターリン・ソ連共産党書記長が、二月の第四回党大会で唱えた主張。第一次世界大戦後のヨーロッパの革命運動の沈滞化を背景に、国内建設重視を打ち出し、ジノビエフと対立した。ロシア革命初期の普遍主義的展望の後退は、コミンテルンによる各国共産党の指導に大きな影響を与え、後のソ連離れ、共産主義勢力分裂の原因を作った。

週刊YEARBOOK 日録20世紀1925

# CONTENTS

●特集  
「JOAK、こちらは東京放送局」  
娯楽の王様「ラジオ放送」が始まる!  
「国体の名のもとに制定」  
「治安維持法」と弾圧の構図  
「二〇年ぶりの早慶戦、東大も参加」  
「東京六大学野球リーグ」スタート!  
日本人ファン第一号は石原莞爾  
カメラの革命! 「ライカ」誕生

●クロスアッ  
フォト十日後で再現する365日  
女たちの肖像  
女性アナ第号 翠川秋子の七カ月 稲葉真弓

勝者敗者  
大横綱 栃木山、突如の引退! 阿部珠樹

証言 あの日この日 山崎行太郎

現場を歩く  
東大講堂の改修と「安田」 山本徹美

20世紀博物館  
所沢航空発祥記念館 増子 桑原茂夫

外から見たNIPPON  
モリスが想い続けた日本人と鎮魂 佐伯修

モノ語り25  
食の欧風化と星印北海道バター「キユーピーマヨネーズ」

人物クロスアッ  
牧野三三、独立プロ創立!

決定的瞬間  
大戦の英雄たちと曲芸飛行の時代

美の出会い  
佐伯祐三、サロンド・ドントンヌ入選

ベストセラー  
俄多摩多

往きて還らぬ  
41 31 21 11



# スパルタ品質。

PILOT

跳ね、払い、押さえ。日本の文字の特質を知り尽くすとペン先はどこまでも鍛えられる。

「永」。この一字の中に運筆のすべてが集約されるという。パイロットは日本人のあらゆる筆致に対応すべく、日本の文字の基本を見つめることから万年筆を開発。まず強度と柔軟性が同時に求められる地金部分は14Kがベストであると判断し、ペンポイントには超硬質の合金イリドスミンを溶接。そして毛筆を思わせる、しなやかさと弾力、滑らかな書き味を具現化し、書き手の嗜好に合わせ8種類のペン先を用意。書くという個性の表現にプロのまなざしと技で徹底的に臨む。これがパイロットの第一義である。

空気の流れ、インキの流れを追求して  
いくと溝の切り方にも違いが出る。

そもそも毛細管現象により、文字が書ける万年筆。そのペン芯は空気溝、インキ溝、余分に流れ出るインキを溜めておく櫛溝から成る。単純な構造だが、それゆえ奥が深い。僅かな気圧・気温の変化でも、インキの流れに影響を与える。

ノボタ落ちが  
なく、いかな  
る場合でも最善の  
書き味を約束するため  
は、ひときわ精密な溝の設計、  
細部への入念さが不可欠だ。結  
果、コンバーターでインキを補充する際、

インキ壺にペンの首までどっぷり浸ける必要がない吸入機構をも実現。精緻であるからこそ、ペン先を紙に当てた瞬間、人間本来の繊細にして温かい感覚が込み上げてくる。それがパイロットの誇りとするところだ。

ステイタスを飾る美しさだけではない。「万年」筆であるためには堅牢さも要求される。

鞘、軸と呼ばれる万年筆のボディ。そこにはいつまでも損なわれることのない美しさと強さを求め、アクリル樹脂を採用。ポケットに入れて服地と擦れ合っても、失われない光沢。手に力がこもっても、しなりのある腰。掌になじむ肌触り。それは単なるステイタスシンボルではない、実際に用いられてこそ真価を主張する「万年」筆であるために。そしてすべては時代が変わっても裏切ることのない品質のために。ペン先からボディに至るまで一貫生産して世に送り出すこと。これこそパイロットの信念である。



EF (極細字)

F (細字・ファイン)

SF (細字・軟)

M (中字・ミディアム)

SM (中字・軟)

B (太字・ブロード)

C (特太・コース)

MS (特太・ミュージック)



カスタム 743FKK-3000R-B 30,000円

ぬくもりを伝えるものだから、  
こだわりを持ってつくりたい。

CUSTOM

<http://www.pilot.co.jp>

シャープペンシル、ボールペンもあります。



カスタム 74HKK-1000R 10,000円



カスタム 74BKK-1000R 10,000円  
(価格は税抜き)

